

RICOH

Caplio^{*}

500G wide

使用説明書（ソフトウェア編）

メモ

- 安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず別冊の『安全上のご注意』をお読みください。
- Caplio Software CD-ROMからのインストール方法によってインストールされるソフトウェアが異なります。詳しくは『使用説明書（カメラ・導入編）』をご覧ください。

使用説明書の構成について

Caplio 500Gwideには、次の2種類の使用説明書が付属しています。

1. カメラの使いかたを知るには

『使用説明書（カメラ・導入編）』 （冊子の使用説明書）

カメラの使いかたや機能を説明しています。付属ソフトウェアをパソコンに入れる（インストール）方法についても説明しています。



2. 画像をパソコンに取り込むには

『使用説明書（ソフトウェア編）』 ※本書（このファイル）です。

付属のソフトウェアを使って、カメラの画像をパソコンに取り込む方法を説明しています。



3. パソコンで画像を表示するには

付属のソフトウェアImageMixerを使うと、画像を表示したり編集したりすることができます。

ImageMixerの使いかたについては、ImageMixerの画面上の[?]ボタンをクリックすると表示されるマニュアルを参照してください。

なお、ImageMixerの最新の情報は、開発元の株式会社ピクセラのホームページ (<http://www.imagemixer.com>) を参照してください。

ソフトウェア編の読みかた

画面について

画面例は実際の表示と異なる場合があります。

用語について

本書では、静止画／動画／音声をまとめて「画像」または「ファイル」と呼んでいます。

マークについて

本書では次のマークを使って表記しています。

注意

注意事項

操作上、守っていただきたい注意事項や制限事項です。

メモ

メモ

そのページに関する補足説明や、操作について知っておくと役に立つ事柄です。

参照

参照

関連する機能のページを示しています。なお、本文中に参照ページを「P.xx」という表記で示している場合もあります。

用語説明

用語説明

そのページで説明されている内容から、知っておいていただきたい用語をピックアップして解説しています。

目次

使用説明書の構成について.....	2
1.カメラの使いかたを知るには.....	2
2.画像をパソコンに取り込むには.....	2
3.パソコンで画像を表示するには.....	2
ソフトウェア編の読みかた.....	2
画面について.....	2
用語について.....	2
マークについて.....	2
目次.....	3
Chapter 1 画像をパソコンに取り込む (Windows編)	
カメラとパソコンを接続する.....	6
Windows XPの場合.....	7
Windows XP Service Pack2での警告メッセージについて.....	8
画像をパソコンに取り込む.....	9
マストレージモードで画像を転送するには.....	9
カメラとパソコンの接続を解除するには.....	9
RICOH Gate Laで転送するには.....	10
RICOH Gate Laの使いかた.....	12
起動について.....	12
終了するには.....	12
再起動するには.....	12
RICOH Gate Laのウィンドウ.....	12
[オプション設定]の使いかた.....	14
[背景イラスト設定]の使いかた.....	15
SDメモリーカードから画像を取り込む.....	15
SDメモリーカード内の画像.....	15
Chapter 2 画像をパソコンに取り込む (Macintosh編)	
カメラとパソコンを接続する.....	17
画像をパソコンに取り込む.....	18
マストレージモードで画像を転送するには.....	18
カメラとパソコンの接続を解除するには.....	18
ソフトウェアを使用して画像を転送するには.....	19
RICOH Gate Laで転送するには.....	19
Caplio Mounterで転送するには.....	20
RICOH Gate Laの使いかた.....	21
起動について.....	21
終了するには.....	21
再起動するには.....	21
RICOH Gate Laのウィンドウ.....	21
[オプション設定]の使いかた.....	22
SDメモリーカードから画像を取り込む.....	23
SDメモリーカード内の画像.....	23
Chapter 3 Caplio Transfer Softwareの使い方	
Caplio Transfer Softwareについて.....	25
Caplio Transfer Softwareをご使用前に.....	25
転送設定をする.....	27
画像を転送する.....	29

Chapter 4 カメラメモを付けて撮影する

Section 1 カメラメモについて

カメラメモとは.....	31
文字のカメラメモ.....	31
音声メモ.....	31
カメラメモの使いかたの流れ.....	32

Section 2 カメラメモリストを作る

カメラメモリストを作成する.....	34
List Editorの起動.....	34
List Editorの終了.....	34
List Editorの使いかた.....	34
List Editorの画面の見かた.....	36
カメラメモリストをカメラに転送する.....	37
List Editorから転送する.....	37
カードリーダーを使うときは.....	38

Section 3 カメラメモを付けて撮影する

カメラメモを付けて撮影する.....	40
カメラメモモードを選択する.....	40
カメラメモ付き撮影をする.....	40
カメラメモ付き撮影を解除する.....	41
カメラメモを一時的に作成／修正して使う（一時メモ）.....	43
一時メモを作成する.....	43
一時メモを修正する.....	45
カメラメモを修正して一時メモを作成する.....	46
静止画に付けたカメラメモを再生／削除する.....	47
カメラメモを再生する.....	47
カメラメモを削除する.....	48
撮影した静止画にカメラメモを付けるには.....	49
カメラ本体で静止画に付けたカメラメモを表示確認／変更する.....	50
カメラメモを表示確認する.....	50
カメラメモを変更する.....	50
音声メモを登録（録音）／再生確認／変更する.....	52
音声メモを登録する.....	52
登録した音声メモを再生する.....	54
登録した音声メモを変更する.....	54

Section 4 パソコンでカメラメモを表示／編集する

パソコンでカメラメモを表示／確認／修正する.....	56
静止画に付けた音声メモを再生確認する.....	57
カメラメモを検索する.....	58
カメラメモを印刷する.....	58
[メモ詳細設定] ダイアログボックスの使いかた.....	59

付録

キーボードの使い方.....	61
お困りのときは.....	63

Chapter 1

画像をパソコンに取り込む (Windows編)

ここでは、静止画や動画などの画像をパソコン (Windows) に取り込む方法について説明します。

カメラとパソコンを接続する

自動的にカメラからパソコンに画像を取り込むためには、ソフトウェアのインストールが必要です。

ソフトウェアをインストールせずにカメラからパソコンに画像を取り込みたいときは、カメラの [USB接続] を [マスタストレージ] に変更し、[マイ コンピュータ] で閲覧します。

インストール方法や、USB接続の変更方法については、『使用説明書（カメラ・導入編）』をご覧ください。

ソフトウェアをパソコンにインストールしたら、カメラとパソコンを接続します。

1. カメラのセットアップメニューで、[USB接続] の設定を確認する

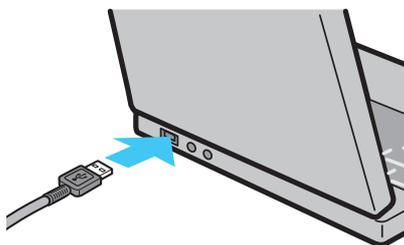
確認方法は『使用説明書（カメラ・導入編）』をご覧ください。

ご購入時は [オリジナル] に設定されています。転送方法によって以下のように設定してください。

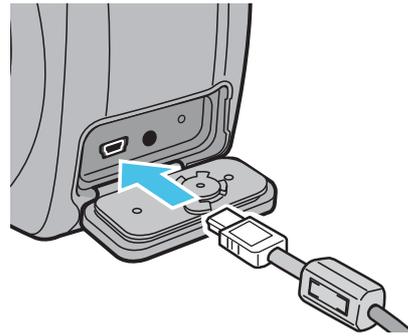
転送に使用するソフトウェア	[USB接続] の設定
ソフトウェアを使用せず、カメラをドライブとして認識させる	マスタストレージ
Auto Documentリンク	オリジナル
RICOH Gate La	オリジナル

2. カメラの電源をオフにする

3. 付属のUSBケーブルをパソコンのUSBポートに接続する



4. USBケーブルをカメラのUSB端子に接続する

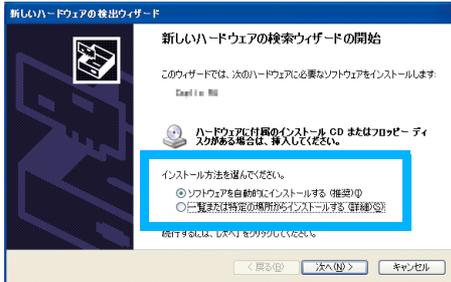


カメラの電源がオンになります。カメラの [USB接続] の設定が [マスタストレージ] の場合は、パソコンが自動的にカメラを新しいドライブとして認識する準備をはじめます。「画像をパソコンに取り込む」(P.9) に進んでください。

Windows XPの場合

初めてカメラとパソコンをUSBケーブルで接続すると [新しいハードウェアの検出ウィザード] 画面が表示されます。(カメラの [USB接続] の設定が [オリジナル] のときのみ)

1. [ソフトウェアを自動的にインストールする (推奨)] を選択する

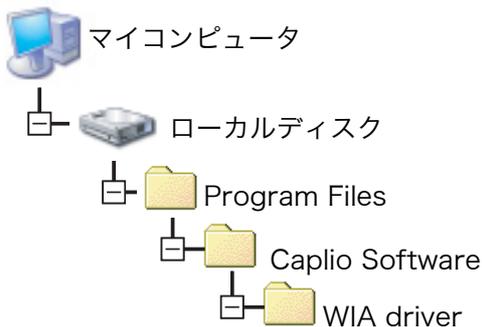


2. 付属のCaplio Software CD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットする

自動的にWIAドライバーのインストールが開始されます。なお、[新しいハードウェアの検出ウィザード] 画面が表示されたときに、すでにCD-ROMがパソコンにセットされていた場合には、[次へ] を選択するとインストールが開始されま

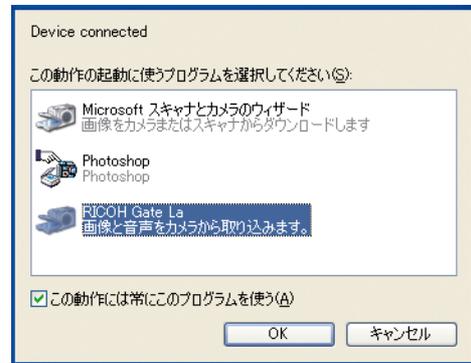
メモ

WIAドライバーは、インストーラの初期設定では以下の場所にも保存されています。



3. [RICOH Gate La] を選択し、[この動作には常にこのプログラムを使う] にチェックを入れて、[OK] ボタンをクリックする

- Windows XPのスキヤナとカメラのウィザード機能を使ってカメラから画像を取り込みたい場合には、[Microsoftスキヤナとカメラのウィザード] を選択してください。
- [この動作には常にこのプログラムを使う] にチェックを付けなければ、取り込みの際に毎回 [Caplio 500Gwide] 画面が表示されて取り込みの方法 ([RICOH Gate La] または [Microsoftスキヤナとカメラのウィザード]) を選択できます。



メモ

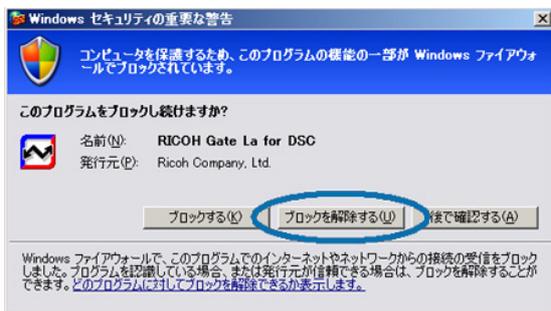
- カメラとパソコンの接続を終了するには
 - カメラの電源ボタンを押して電源をオフにする
 - USBケーブルを外す
- カメラから画像を取り込む場合は、十分に残量がある電池をセットしてください。または、電源にACアダプター (別売り) を使用することをお勧めします。

Windows XP Service Pack2 での警告メッセージについて

Windows XP Service Pack2がインストールされたパソコンで、弊社デジタルカメラ用ソフトの使用時（ソフト起動時、USB接続時）等に以下の警告メッセージが表示される場合があります。
こちらをご理解の上、以下を参考にしてください。

■警告メッセージが表示されたら

1. 名前、発行元を確認し [ブロックを解除する] ボタンをクリックする



注意

プログラムの名前や発行元に心当たりが無い場合はウイルスプログラムである可能性がありますので [ブロックする] をクリックしてください。ブロックすると、そのプログラムによる外部からの接続が利用できなくなります。

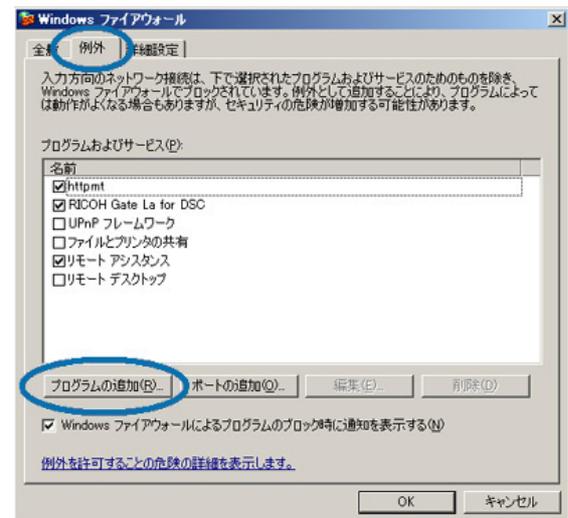
■ [ブロックする] ボタンをクリックした場合
Windows ファイアウォールの設定を確認します。

1. [スタート] → [コントロールパネル] の順にクリックする
2. [Windows ファイアウォール] をダブルクリックする



[Windows ファイアウォール] がない場合はウィンドウ左上の [クラシック表示に切り替える] をクリックしてください。

3. [例外] タブをクリックする



4. [プログラムおよびサービス] 内に設定したソフトウェアがあることを確認する

5. [プログラムの追加] ボタンをクリックし、ネットワークを使うソフトウェアを追加する

■ [後で確認する] ボタンをクリックした場合

プログラムを起動するたびに、[Windows セキュリティの重要な警告] ウィンドウが表示されるので、その際に [ブロックを解除する] を選択できます。

画像をパソコンに取り込む

カメラとパソコンを接続して、画像を一括してパソコンに取り込むことができます。

マストレージモードで画像を転送するには

注意

Windows 98/98 Second Editionをご使用の場合、本カメラではマストレージモードで接続できません。

1. セットアップメニューの[USB接続]を[マストレージ]に設定する
2. カメラの電源がオフになっていることを確認する
3. 付属のUSBケーブルをパソコンのUSBポートに接続する
4. USBケーブルをカメラのUSB端子に接続する

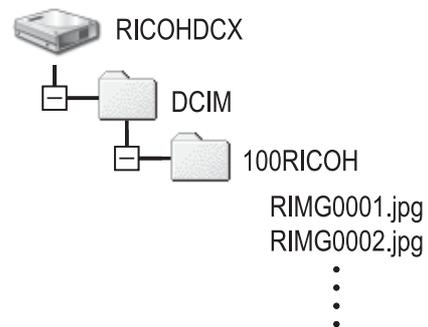
カメラの電源がオンになります。カメラをドライブとして認識するために必要なファイルが自動的に読み込まれます。準備が終わると、[マイ コンピュータ]にドライブとして表示されます。



Windows XPでの表示例

5. 表示されたドライブから、任意の場所にファイルをコピーする

ドライブのフォルダ構成は図のようになっています。



内蔵メモリーの内容が表示されているときは、ドライブ名は[RICOHDCI]になります。

注意

転送中は電源をオフにしたりUSBケーブルを抜いたりしないでください。

メモ

表示される内容は、SDメモリーカードがセットされているときはSDメモリーカードのファイル、SDメモリーカードがセットされていないときは内蔵メモリーのファイルです。

カメラとパソコンの接続を解除するには

表示はWindows XPの例です。他のOSでは用語が異なりますが、操作は同じです。

1. タスクバーの右端にある[ハードウェアの安全な取り外し]アイコンをダブルクリックする

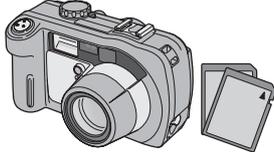


2. [USB 大容量記憶装置デバイス]を選び、[停止]をクリックする
3. [USB 大容量記憶装置デバイス]が選ばれていることを確認して、[OK]をクリックする
4. [閉じる]をクリックする

RICOH Gate Laで転送するには

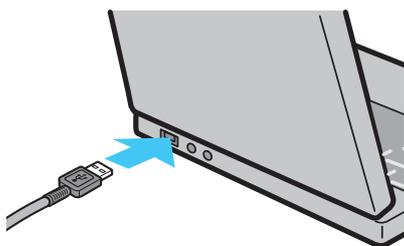
メモ

取り込み時には、次の記録先からパソコンに取り込まれます。

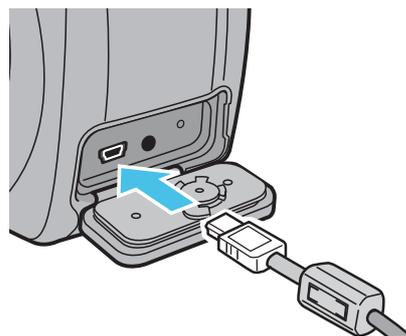
本体のみのとき	SDメモリーカードがセットされているとき
内蔵メモリーから取り込む	SDメモリーカードから取り込む
	

RICOH Gate Laは[マイドキュメント]フォルダの中に自動的に[Caplio]フォルダを作成します。取り込んだ画像は、撮影日ごとのフォルダに入れて[Caplio]フォルダ内に保存されます。あらかじめカメラで正しい日時を設定してから撮影してください。

1. セットアップメニューの[USB接続]を[オリジナル]に設定する
2. カメラの電源がオフになっていることを確認する
3. 付属のUSBケーブルをパソコンのUSBポートに接続する



4. USBケーブルをカメラのUSB端子に接続する



カメラの電源がオンになり、RICOH Gate Laが起動して、RICOH Gate Laのウィンドウが表示されます。



自動的に画像の転送が開始されます。

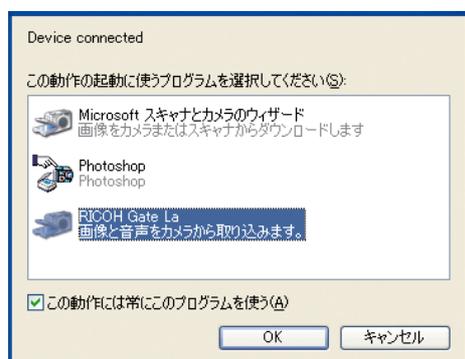
メモ

- パソコンに転送する際は、新しいファイル名に置き換えられて保存されます。
- カメラ側で付けられたファイル名は利用しません。
- ファイル名が重ならないように連番で保存されます。
- 保存フォルダが変わっても、続けて連番になります。番号の初期化はできません。
- RICOH Gate Laを通じてパソコンに転送した場合は、[CARD連続NO.]を[ON]にしても、ファイル名は[RIMG***.jpg] (***)は番号)で保存されます。
- 自動的に画像が転送されない場合は、RICOH Gate Laの[オプション設定]ダイアログボックスで[USB接続時、自動保存を行う]にチェックマークを付けてください。

参照

- RICOH Gate Laの[オプション設定]ダイアログボックスについて P.14
- [USB接続] (マスタストレージ/オリジナル) について 『使用説明書 (カメラ・導入編)』

以下の画面が表示された場合は、[RICOH Gate La] を選択し、[この動作には常にこのプログラムを使う] にチェックを入れて、[OK] ボタンをクリックしてください。



メモ

- RICOH Gate Laを終了する前に、カメラの電源をオフにしたり、USBケーブルを抜いたりすると、RICOH Gate Laのウィンドウは最小化してWindowsのタスクバー上にアイコンとして表示されます。アイコンをクリックすると、再びウィンドウが表示されます。
- 画像の取り込み先（保存先）フォルダは変更することができます。

参照

- 保存先フォルダを変更するには  P.14
- RICOH Gate Laの起動について  P.12
- RICOH Gate Laの画面について  P.12

RICOH Gate Laの使いかた

RICOH Gate Laは、カメラからパソコンに画像を一括して取り込む働きをするソフトウェアです。

カメラとパソコンをUSBケーブルで接続するだけで、自動的にパソコンに画像を取り込みます。

RICOH Gate Laのウィンドウでは、接続時自動保存や画像の取り込み先（保存先）など、さまざまな設定ができます。

起動について

RICOH Gate Laは、Caplio Softwareをインストールするとインストールされます。

カメラとパソコンをUSBケーブルで接続すると、自動的に起動し、画像を取り込みます。

終了するには

RICOH Gate Laを終了するには、次の2種類の操作方法があります。

- RICOH Gate Laウィンドウの [MENU] ボタンをクリックしてメニューを表示し、[終了] を選択する（「RICOH Gate Laのウィンドウ」を参照）
- タスクバーのRICOH Gate Laのアイコンを右クリックしてメニューを表示し、[終了] を選択する

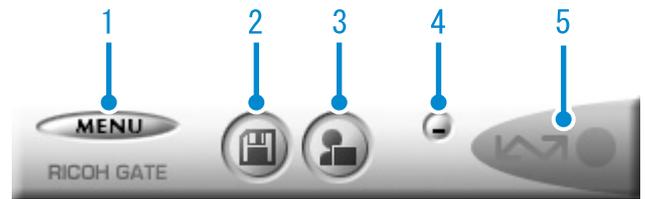
再起動するには

一度終了した後、RICOH Gate Laを再度起動したい場合は、次のように操作します。

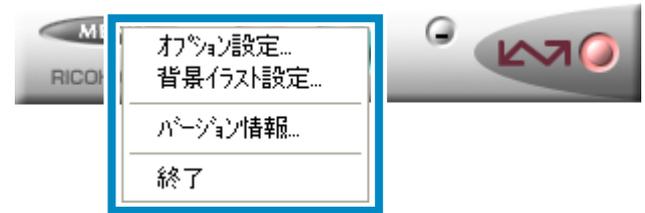
- [スタート] メニューから [すべてのプログラム] または [プログラム] → [Caplio Software] → [RICOH Gate La] を選択する

RICOH Gate Laのウィンドウ

RICOH Gate Laが起動すると、パソコンの画面上に次のようなRICOH Gate Laのウィンドウが表示されます。



- 1 [MENU] ボタン
クリックすると次のメニューが表示されます。



- | | |
|------------|--|
| [オプション設定] | 画像の保存先や、保存後および [アプリケーション] ボタンを押したときに起動するアプリケーションを設定します。（☞P.14） |
| [背景イラスト設定] | RICOH Gate Laのウィンドウの背景デザインを変更します。（☞P.15） |
| [バージョン情報] | RICOH Gate Laのバージョンを表示します。 |
| [終了] | RICOH Gate Laを終了します。 |

- 2 [保存] ボタン
クリックするとカメラから画像を取り込みます。

注意

カメラの液晶モニターに、[接続待ち・・・ダイレクトプリントをおこなう時にはADJ.ボタンを押してください] と表示されている間は、[保存] ボタンを押さないでください。

- 3 [アプリケーション] ボタン
[オプション設定] で登録されたアプリケーションを起動します。

4 [最小化] ボタン

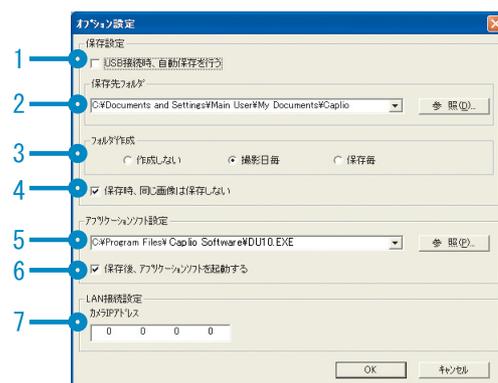
ウィンドウを最小化してWindowsのタスクバー上にアイコン表示します。アイコンをクリックすると、ウィンドウが表示されます。

5 インジケータ

カメラがUSBケーブルで接続されていると、「インジケータ」が点灯します。このとき「インジケータ」にマウスポインタを合わせると、[カメラ接続中] と表示されます。接続されていないときには、「インジケータ」はグレー表示され、マウスポインタを合わせても、[カメラ接続中] は表示されません。

【オプション設定】の使いかた

RICOH Gate Laのウィンドウにある [MENU] ボタンで表示したメニューから [オプション設定] を選ぶと、[オプション設定] ダイアログボックスが表示されます。

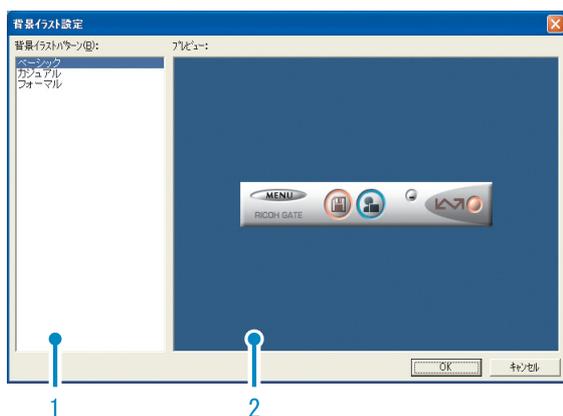


項目	説明	初期値
1 [USB接続時、自動保存を行う]	チェックマークを付けると、カメラとパソコンがUSBケーブルで接続されたときに、自動的に画像がパソコンに取り込まれ、保存されます。 チェックマークを消すと、カメラをUSBケーブルで接続しても画像は自動的に取り込まれません。このときは、RICOH Gate Laを起動して、[保存] ボタンをクリックして取り込みます。	自動保存を行う
2 [保存先フォルダ]	画像を保存するフォルダを指定します。あらかじめ [マイドキュメント] フォルダ内の [Caplio] フォルダに設定されているので、変更したいときには、[参照] ボタンをクリックしてダイアログボックスを表示し、指定したいフォルダを選択します。	_____
3 [フォルダ作成]	フォルダの作成方法を指定します。 [作成しない] 取り込んだ画像を、すべて「2 [保存先フォルダ]」で指定されているフォルダ内に保存します。 [撮影日毎] フォルダ名を撮影日にしてフォルダを新規作成し、撮影した画像を保存します。 例) 2006年5月1日に撮影した場合：[20060501] フォルダ [保存毎] 保存毎にフォルダを新規作成して、画像を保存します。1日に複数回保存を行った場合には、そのたびに別のフォルダに保存されます。 作成されるフォルダ名は、「保存日付+アンダーバー+3桁の連番」になります。 例) 2006年5月1日に2回保存した場合：[20060501_001] フォルダ、[20060501_002] フォルダ	撮影日毎にフォルダを作成する
4 [保存時、同じ画像は保存しない]	チェックマークを付けると、一度カメラからパソコンへ取り込みを行った画像は取り込みません。[フォルダ作成] の設定を [作成しない] または [撮影日毎] にしたときのみ指定できます。 この機能を正しく働かせるには、カメラの日時設定を正しく設定する必要があります。 チェックマークを消すと、一度取り込みを行った画像も再度取り込みます。	同じ画像は保存しない
5 [アプリケーションソフト設定]	保存後にアプリケーションを起動したい場合に、アプリケーション名を指定します。設定したいときには、[参照] ボタンをクリックしてダイアログボックスを表示し、指定したいアプリケーションを選択します。	_____
6 [保存後、アプリケーションソフトを起動する]	チェックマークを付けると、保存後にアプリケーションを起動します。チェックマークを消すと、起動しません。	アプリケーションを起動する
7 [カメラIPアドレス]	本カメラでは使用しません。他のCaplioシリーズのカメラをお使いの場合に使用します。詳しくは、そのカメラの使用説明書を参照してください。	0.0.0.0

【背景イラスト設定】の使いかた

3種類のイラストパターンから、RICOH Gate Laのウィンドウの背景イラストを選択できます。

RICOH Gate Laのウィンドウにある[MENU] ボタンで表示したメニューから【背景イラスト設定】を選ぶと、【背景イラスト設定】ダイアログボックスが表示されます。



- 1 【背景イラストパターン】
3種類のイラストパターンから、使いたいパターンを選択します。



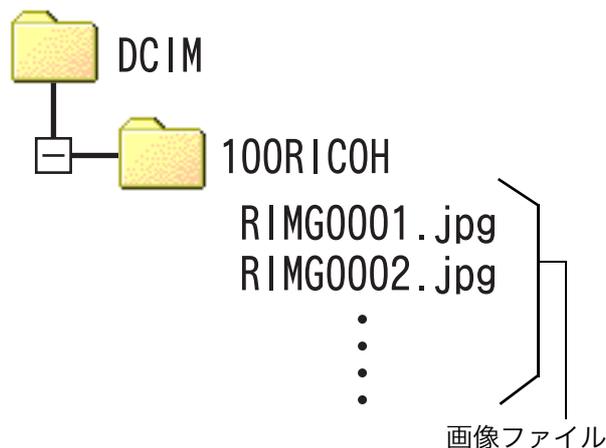
- 2 【プレビュー】
【背景イラストパターン】で選択したパターンが表示され、確認できます。

SDメモリーカードから画像を取り込む

PCカードスロットやカードリーダーを使って、SDメモリーカードからパソコンへ画像を取り込むことができます。

SDメモリーカード内の画像

SDメモリーカードには、図のような階層で画像が記録されています。



メモ

PCカードスロットやカードリーダーのタイプによっては、SDメモリーカードをセットするときにメモリーカードアダプターが必要です。SDメモリーカードがそのままセットできるタイプであれば、メモリーカードアダプターは必要ありません。

用語説明

カードリーダー

パソコンに接続して、カードの内容を読み取るための機器です。メモリーカードアダプタータイプの他に、SDメモリーカードがそのままセットできる各種のカードに対応したカードリーダーがあります。

Chapter 2

画像をパソコンに取り込む (Macintosh編)

ここでは、静止画や動画などの画像をパソコン (Macintosh) に取り込む方法について説明します。

カメラとパソコンを接続する

自動的にカメラからパソコンに画像を取り込むためには、ソフトウェアのインストールが必要です。

ソフトウェアをインストールせずにカメラからパソコンに画像を取り込みたいときは、カメラの [USB接続] を [マスタストレージ] に変更し、デスクトップのドライブで閲覧します。

インストール方法や、USB接続の変更方法については、『使用説明書（カメラ・導入編）』をご覧ください。

ソフトウェアをパソコンにインストールしたら、カメラとパソコンを接続します。

1. カメラのセットアップメニューで、[USB接続] の設定を確認する

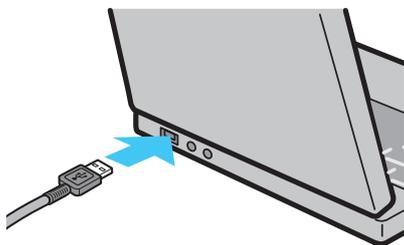
確認方法は『使用説明書（カメラ・導入編）』をご覧ください。

ご購入時は [オリジナル] に設定されています。転送方法によって以下のように設定してください。

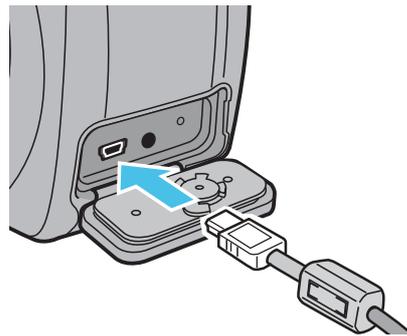
転送に使用するソフトウェア	[USB接続] の設定
ソフトウェアを使用せず、カメラをドライブとして認識させる	マスタストレージ
RICOH Gate La	オリジナル
Caplio Mounter	オリジナル

2. カメラの電源をオフにする

3. 付属のUSBケーブルをパソコンのUSBポートに接続する



4. USBケーブルをカメラのUSB端子に接続する



カメラの電源がオンになります。カメラの [USB接続] の設定が [マスタストレージ] の場合は、パソコンが自動的にカメラを新しいドライブとして認識する準備をはじめます。「画像をパソコンに取り込む」(P.18)に進んでください。

メモ

- カメラとパソコンの接続を終了するには
 - カメラの電源ボタンを押して電源をオフにする
 - USBケーブルを外す
- カメラから画像を取り込む場合は、十分に残量がある電池をセットしてください。または、電源にACアダプター（別売り）を使用することをお勧めします。

画像をパソコンに取り込む

カメラとパソコンの接続ができれば、画像をパソコンに取り込むことができます。

マストレージモードで画像を転送するには

注意

Mac OS 8.6をご使用の場合、本カメラではマストレージモードで接続できません。

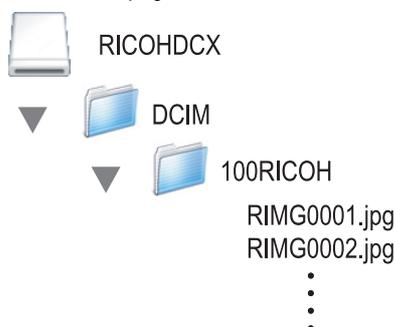
1. セットアップメニューの [USB 接続] を [マストレージ] に設定する
2. カメラの電源がオフになっていることを確認する
3. 付属のUSBケーブルをパソコンのUSBポートに接続する
4. USBケーブルをカメラのUSB端子に接続する

カメラの電源がオンになります。カメラをドライブとして認識するために必要なファイルが自動的に読み込まれます。

準備が終わると、デスクトップにドライブとして表示されます。

5. 表示されたドライブから、任意の場所にファイルをコピーする

ドライブのフォルダ構成は図のようになっています。



内蔵メモリーの内容が表示されているときは、ドライブ名は [RICOHDCI] になります。

注意

転送中は電源をオフにしたりUSBケーブルを抜いたりしないでください。

メモ

表示される内容は、SDメモリーカードがセットされているときはSDメモリーカードのファイル、SDメモリーカードがセットされていないときは内蔵メモリーのファイルです。

カメラとパソコンの接続を解除するには

1. 表示されたドライブを [ゴミ箱] アイコンにドラッグアンドドロップする

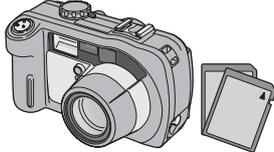
Mac OS 9の場合は [特別] メニューで、Mac OS Xの場合は [ファイル] メニューで [取り出し] を選択して接続を解除することもできます。

ソフトウェアを使用して画像を転送するには

メモ

取り込み時には、次の記録先からパソコンに取り込まれます。

本体のみのとき	SDメモリーカードがセットされているとき
内蔵メモリーから取り込む	SDメモリーカードから取り込む



ご使用になっているパソコン環境により、取り込み方法が異なります。参照ページの手順にしたがって取り込みを行ってください。

OS	使用するソフトウェア	参照頁
Mac OS 8.6 ~ 9.2.2の場合	RICOH Gate La、Caplio Mounter	P.19 P.20
Mac OS X 10.1.2 ~ 10.4.5の場合	Caplio Mounter	P.20

RICOH Gate Laで転送するには

■Mac OS 8.6～9.2.2の場合

Mac OS 8.6, Mac OS 9.1未満の場合は、起動ディスクのルートディレクトリに[Caplio]フォルダを作成します。

Mac OS 9.1 ~ 9.2.2の場合は、起動ディスク内の[書類]フォルダの中に自動的に[Caplio]フォルダを作成します。

1. セットアップメニューの[USB接続]を[オリジナル]に設定する
2. カメラの電源がオフになっていることを確認する

3. カメラとパソコンをUSBケーブルで接続する

カメラの電源がオンになり、RICOH Gate Laが起動して、RICOH Gate Laのウィンドウが表示されます。



自動的に画像の転送が開始されます。

メモ

- パソコンに転送する際は、新しいファイル名に置き換えられて保存されます。
- カメラ側で付けられたファイル名は利用しません。
- ファイル名が重ならないように連番で保存されます。
- 保存フォルダが変わっても、続けて連番になります。番号の初期化はできません。
- RICOH Gate Laを通じてパソコンに転送した場合は、[CARD連続NO.]を[ON]にしても、ファイル名は[RIMG****.jpg] (****は番号) で保存されます。
- 自動的に画像が転送されない場合は、RICOH Gate Laの[オプション設定]ダイアログボックスで[接続時に自動的にファイルを転送する]にチェックマークを付けてください。
- RICOH Gate Laを終了する前に、カメラの電源をオフにしたり、USBケーブルを抜いたりすると、RICOH Gate Laは自動的に終了します。
- 画像の取り込み先(保存先)フォルダは変更することができます。

参照

- RICOH Gate Laの[オプション設定]ダイアログボックスについて [P.22](#)
- [USB接続](マスタトレージ/オリジナル)について [『使用説明書\(カメラ・導入編\)』](#)
- 保存先フォルダを変更するには [P.22](#)
- RICOH Gate Laの起動について [P.21](#)
- RICOH Gate Laの画面について [P.21](#)

Caplio Mounterで転送するには

■ Mac OS 8.6～9.2.2の場合 Mac OS X 10.1.2～10.4.5の場合

Caplio Mounterを使って画像を転送することもできます。

1. セットアップメニューの [USB 接続] を [オリジナル] に設定する
2. カメラの電源がオフになっていることを確認する
3. カメラとパソコンをUSBケーブルで接続する

カメラの電源がオンになります。SDメモリーカードがない場合は [Caplio] アイコンが表示され、カメラの内蔵メモリーに記録されている画像ファイルをご覧いただくことができます。



Mac OS 10.1.2～10.4.5での表示例

SDメモリーカードがある場合は [Caplio.SD] アイコンが表示され、カメラにセットされたSDメモリーカードに記録されている画像ファイルをご覧いただくことができます。



Mac OS 10.1.2～10.4.5での表示例

4. 表示されたアイコンをダブルクリックする

通常のドライブと同じように扱うことができます。アイコンをダブルクリックすると、[DCIM] というフォルダが表示され、そのフォルダ内に [100RICOH] というフォルダが表示されます。[100RICOH] フォルダの中にカメラで撮影した画像ファイルがあります。ファイルをドラッグアンドドロップし、ハードディスクにコピーしてご使用ください。

注意

Caplio Mounterを使う場合、SDメモリーカードへの書き込みはできません。

メモ

- カメラを接続しない状態で RICOH Gate Laを起動したい場合には、システムフォルダ：コントロールパネルフォルダ内の [RICOH Gate La] アイコンをダブルクリックします。
- RICOH Gate Laで取り込んだ画像は、撮影日付ごとのフォルダに入れて [Caplio] フォルダ内に保存されます。あらかじめカメラで正しい日時を設定してから撮影してください。Caplio Mounterでは任意の場所に取り込むことができます。

参照

保存先フォルダを変更するには P.22

RICOH Gate Laの使いかた

RICOH Gate Laは、カメラからパソコンに画像を一括して取り込む働きをするソフトウェアです。

カメラとパソコンをUSBケーブルで接続するだけで、自動的にパソコンに画像を取り込みます。

RICOH Gate Laのウィンドウでは、接続時自動保存や画像の取り込み先（保存先）など、さまざまな設定ができます。

起動について

RICOH Gate Laは、カメラとパソコンをUSBケーブルで接続すると、自動的に起動し、画像を取り込みます。

終了するには

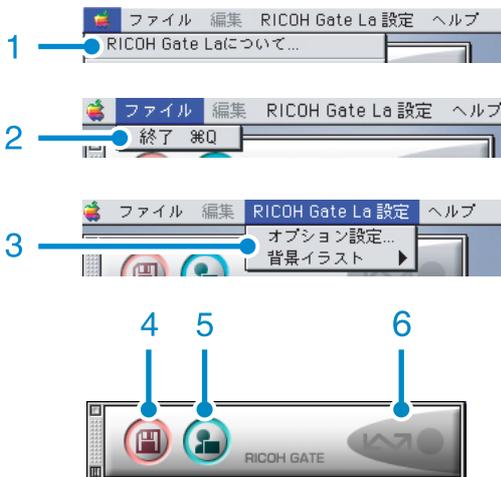
RICOH Gate Laを終了するには、RICOH Gate Laのメニューバーから [ファイル] → [終了] を選択します。

再起動するには

一度終了した後、RICOH Gate Laを再度起動したい場合には、システムフォルダ内のコントロールパネルフォルダにある [RICOH Gate La] アイコンをダブルクリックします。

RICOH Gate Laのウィンドウ

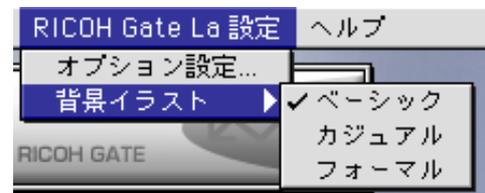
RICOH Gate Laが起動すると、画面上にRICOH Gate Laのメニューバーと次のようなウィンドウが表示されます。



- 1 [RICOH Gate Laについて]
RICOH Gate Laのバージョンを表示します。
- 2 [終了]
RICOH Gate Laを終了します。
- 3 [オプション設定]
画像の保存先や、保存後および [アプリケーション] ボタンを押したときに起動するアプリケーションを設定します。
(P.22)

[背景イラスト]

選択するとサブメニューが表示されるので、RICOH Gate Laのウィンドウの背景デザインを変更できます。

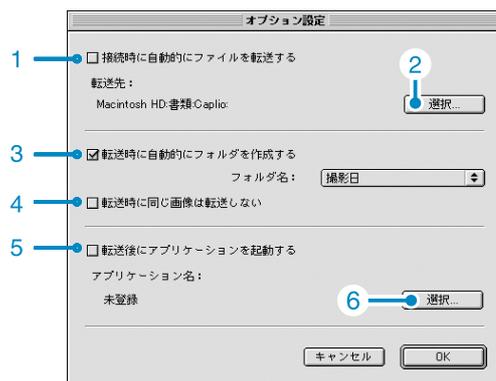


サブメニューの図

- 4 [保存] ボタン
クリックするとカメラから画像を取り込みます。
- 5 [アプリケーション] ボタン
[オプション設定] で登録されたアプリケーションを起動します。
- 6 インジケータ
カメラがUSBケーブルで接続されていると、「インジケータ」が点灯します。

【オプション設定】の使いかた

[RICOH Gate La設定] メニューから [オプション設定] を選ぶと、[オプション設定] ダイアログボックスが表示されます。



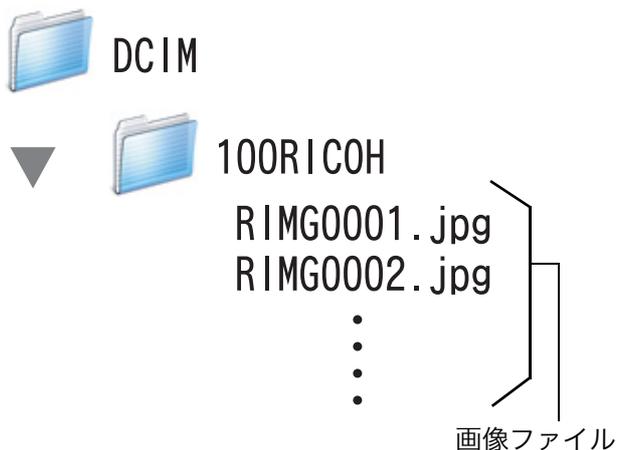
項目	説明	初期値
1 [接続時に自動的にファイルを転送する]	チェックマークを付けると、カメラとパソコンがUSBケーブルで接続されたときに、自動的に画像がパソコンに取り込まれ、保存されます。チェックマークを消すと、カメラをUSBケーブルで接続しても画像は自動的に取り込まれません。このときは、RICOH Gate Laを起動して、[保存] ボタンをクリックして取り込みます。	自動的にファイルを転送する
2 [選択]	画像を保存するフォルダを指定します。 Mac OS 8.6, Mac OS 9.1未満の場合は、起動ディスクのルートディレクトリの [Caplio] フォルダに、Mac OS 9.1 ~ 9.2.2の場合は、起動ディスク内の [書類] フォルダの中の [Caplio] フォルダに設定されているので、変更したいときには、[選択] ボタンをクリックしてダイアログボックスを表示し、指定したいフォルダを選択します。	_____
3 [転送時に自動的にフォルダを作成する]	チェックマークを付けると、取り込んだ画像を保存するフォルダが自動的に作成されます。[フォルダ名] の横に表示される次のメニューで、フォルダの作成方法を指定します。 [撮影日] フォルダ名を撮影日にしてフォルダを新規作成し、撮影した画像を保存します。 例) 2006年5月1日に撮影した場合：[20060501] フォルダ [転送日+転送回数] 保存毎にフォルダを新規作成し、画像を保存します。1日に複数回保存を行った場合には、そのたびに別のフォルダに保存されます。作成されるフォルダ名は、「保存日付+アンダーバー+3桁の連番」になります。 例) 2006年5月1日に2回保存した場合： [20060501_001] フォルダ、[20060501_002] フォルダ チェックマークを消すと、取り込んだ画像はすべて「2 [選択]」で指定したフォルダに保存されます。	撮影日毎にフォルダを作成する
4 [転送時に同じ画像は転送しない]	チェックマークを付けると、一度カメラからパソコンへ取り込みを行った画像は取り込みません。「3 [転送時に自動的にフォルダを作成する]」のチェックマークを消している、またはフォルダの作成方法を [撮影日] にしているときだけ指定できます。この機能を正しく働かせるには、カメラの日時設定を正しく設定する必要があります。チェックマークを消すと、一度取り込みを行った画像も再度取り込みます。	同じ画像は転送しない
5 [転送後にアプリケーションを起動する]	チェックマークを付けると、保存後にアプリケーションを起動します。チェックマークを消すと、起動しません。	アプリケーションを起動しない
6 [選択]	保存後にアプリケーションを起動したい場合に、アプリケーション名を指定します。[選択] ボタンをクリックしてダイアログボックスを表示し、指定したいアプリケーションを選択します。	_____

SDメモリーカードから画像を取り込む

PCカードスロットやカードリーダーを使って、SDメモリーカードからパソコンへ画像を取り込むことができます。

SDメモリーカード内の画像

SDメモリーカードには、図のような階層で画像が記録されています。



メモ

PCカードスロットやカードリーダーのタイプによっては、SDメモリーカードをセットするときにメモリーカードアダプターが必要です。SDメモリーカードがそのままセットできるタイプであれば、メモリーカードアダプターは必要ありません。

Chapter 3

Caplio Transfer Softwareの使い方

Caplio Transfer Softwareは、画像をパソコンのフォルダに分類保存したり、Ridoc Desk Navigator Ltに登録するためのソフトウェアです。

ここではCaplio Transfer Softwareの使いかたについて説明します。



Caplio Transfer Softwareは、Windowsにのみ対応しています。

Caplio Transfer Softwareについて

Caplio Transfer Softwareには、次の2種類の機能があります。

カメラメモ分類保存機能：

画像をカメラメモの内容によって分類し、パソコンのフォルダに転送します。

Ridoc Desk Navigator Ltへの画像転送機能：

カメラ内の画像をパソコンに転送し、Ridoc Desk Navigator Ltの「個人キャビネット」／「ワークフォルダ」に登録します。



Caplio Transfer Softwareのインストール方法について『使用説明書（カメラ・導入編）』



- Ridoc Desk Navigator Ltへの画像転送機能を使用するには、Ridoc Desk Navigator LtまたはRidoc Desk Navigatorが必要で、Ridoc Desk Navigator Ltは、Caplio Software CD-ROMに収められています。Ridoc Desk Navigator Ltのインストール方法は、『使用説明書（カメラ・導入編）』を参照してください。
- Ridoc Desk Navigator Ltで、カメラメモの検索、印刷を行う場合は、Auto Documentリンクで取り込みます。詳しくは Ridoc Desk Navigator Ltの「Auto Documentリンクガイド」、ヘルプを参照してください。

Caplio Transfer Softwareをご使用前に

■Windows 98/98SE/Me/2000の場合

Caplio Software CD-ROMには、RICOH Gate La（画像取り込みソフト）が収められています。

RICOH Gate Laの初期設定では、カメラをパソコンに接続するとRICOH Gate Laがカメラの画像を自動的にパソコンに取り込む設定になっています。

これは、RICOH Gate Laの「MENU」ボタンで表示したメニューで「オプション設定」→「保存設定」を選択して表示されるダイアログボックスの「USB接続時、自動保存を行う」チェックボックスが「ON」になっている（チェックマークが付いている）ためです。

Caplio Transfer Softwareをインストールすると、「USB接続時、自動保存を行う」チェックボックスの設定が「OFF」（チェックマークが消える）に変更されます。

RICOH Gate Laを優先的にご使用になる場合は、「USB接続時、自動保存を行う」チェックボックスを手動で「ON」に変更してください。



Caplio Transfer Softwareを優先的にご使用になる場合は、「USB接続時、自動保存を行う」チェックボックスは「OFF」のままにしておいてください。

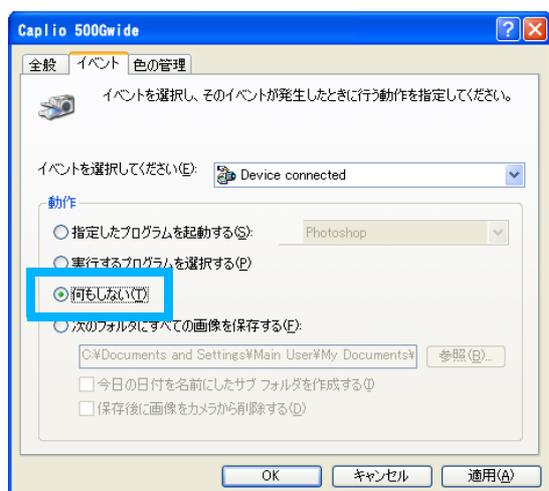
■ Windows XPの場合

Caplio Software CD-ROMには、WIAドライバー（画像取り込み機能）が収められています。

WIAドライバーの初期設定では、カメラをパソコンに接続するとカメラから画像を取り込むための「スキャナとカメラのウィザード」画面が自動的に表示されます。

Caplio Transfer Softwareを優先的にご使用になりたい場合は、「スキャナとカメラのウィザード」画面が自動的に表示されないよう、次のように操作してください。

1. カメラをパソコンに接続した状態で、「マイ コンピュータ」を開く
2. カメラのマーク（「Caplio 500Gwide」アイコン）を右クリックし、「プロパティ」を選択する
3. 「Caplio 500Gwide」画面で「イベント」タブをクリックし、「動作」で「何もしない」を選択する



4. 「OK」ボタンをクリックする

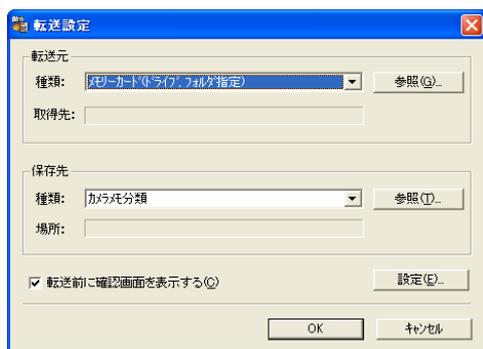
！ 注意

- Caplio Transfer Softwareでの画像の取り込み中（「データを取得中です」が表示されている間）は、カメラの電源をオフにしたり、USBケーブルを抜いたりしないでください。
- Caplio Transfer Softwareでの画像の取り込み中は、RICOH Gate Laでの画像の取り込みは行わないでください。
- RICOH Gate Laでの画像の取り込み中は、Caplio Transfer Softwareでの画像の取り込みは行わないでください。
- Ridoc Desk Navigator Ltへの画像転送機能を用いて、カメラのデータを Ridoc Desk Navigator Ltに表示しているときは、Caplio Transfer Softwareでの画像の取り込みは行わないでください。
- Caplio Transfer Softwareでの画像の取り込み中は、Ridoc Desk Navigator Ltへの画像転送機能を用いて、カメラのデータを Ridoc Desk Navigator Ltに表示しないようにしてください。
- パソコンに接続できる弊社デジタルカメラは、1台のみです。複数台の弊社デジタルカメラを同時にパソコンに接続しないようにしてください。
- ファイルサイズが大きい音声ファイルの取り込みは、パソコンの空き容量に依存します。パソコンの空き容量によっては、取り込みができない場合があります。

転送設定をする

Caplio Transfer Softwareで画像をパソコンに転送するには、転送のための設定が必要です。

1. Windowsのスタートメニューから、**[すべてのプログラム]** または **[プログラム]** → **[Caplio Transfer Software]** → **[設定]** を選択する
[転送設定] ダイアログボックスが表示されます。



2. [転送元] で [種類] を選択する

次の2種類から選択できます。

- [RICOH Caplio] : カメラ (内蔵メモリーまたはSDメモリーカード) 内の画像を転送する場合
- [メモリーカード (ドライブ、フォルダ指定)] : カードリーダーを使用してSDメモリーカード内の画像を転送する場合。パソコン内のフォルダを指定することもできます。

3. 手順2で [メモリーカード (ドライブ、フォルダ指定)] を選択した場合は、[参照] ボタンをクリックして、フォルダを指定する

4. [保存先] で [種類] を選択する

次の2種類から選択できます。

- [カメラメモ分類] : 指定したフォルダに画像を転送保存します。
- [Ridoc Desk Navigator] : (Ridoc Desk Navigator LtまたはRidoc Desk Navigatorがインストールされている場合のみ選択できる) Ridoc Desk Navigator Ltの個人キャビネット/ワークフォルダへ画像を転送保存します。

5. 手順4で [カメラメモ分類] を選択した場合は、[参照] ボタンをクリックして、保存先のフォルダを指定する

6. 必要に応じて [転送前に確認画面を表示する] にチェックマークを付ける

7. [設定] ボタンをクリックする

[設定情報] ダイアログボックスが表示されます。

[設定情報の一覧] で項目を選択し、[変更] ボタンをクリックすると、一覧に表示された項目の設定変更ができます。設定を行ったら、[OK] ボタンをクリックして手順8へ進みます。

■ 転送元が [RICOH Caplio]、保存先が [カメラメモ分類] の場合



上書き確認	転送先フォルダに同じ名前のファイルが存在した場合に上書き確認のメッセージを表示するかどうかを選択できます。確認しない場合には、メッセージを表示せず自動的に上書きされます。
-------	---

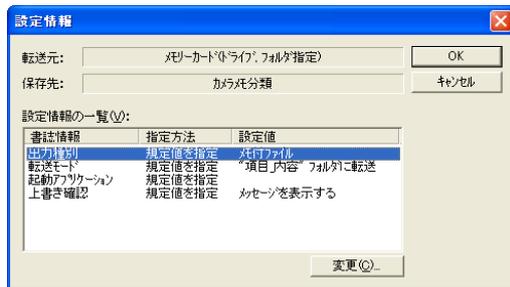
上書き保存	一度取り込みを行った画像を再度取り込むかどうか選択できます。 [同じ画像は保存しない]を選択した場合、一度取り込みを行った画像は取り込みません。
転送モード	カメラメモ付き画像を転送するフォルダの作成方法（「項目名_内容」または「内容」）を選択できます。
起動アプリケーション	転送終了後に起動するアプリケーションを指定できます。
上書き確認	[上書き保存]で[同じ画像を保存する]を選択している場合、同じ名前のファイルが存在したとき、上書き確認のメッセージを表示するかどうかを選択できます。確認しない場合には、メッセージを表示せず自動的に上書きされます。

■ 転送元が [RICOH Caplio]、保存先が [Ridoc Desk Navigator] の場合



上書き保存	一度取り込みを行った画像を再度取り込むかどうか選択できます。 [同じ画像は保存しない]を選択した場合、一度取り込みを行った画像は取り込みません。
作成者	登録文章の作成者を次のいずれかから選択します。 <ul style="list-style-type: none"> 規定値を指定 取得先を指定
保管期限	文章の保管期限を次のいずれかから選択します。 <ul style="list-style-type: none"> 無期限 期限あり（保管日数を指定）
文書状態	文章の作成状態を次のいずれかから選択します。 <ul style="list-style-type: none"> 作成中 完成

■ 転送元が [メモリーカード (ドライブ、フォルダ指定)]、保存先が [カメラメモ分類] の場合



出力種別	カメラメモ付き画像のみを転送するか、すべてのファイルを転送するか選択できます。
転送モード	カメラメモ付き画像を転送するフォルダの作成方法（「項目名_内容」または「内容」）を選択できます。
起動アプリケーション	転送終了後に起動するアプリケーションを指定できます。

■転送元が [メモリーカード (ドライブ、フォルダ指定)]、保存先が [Ridoc Desk Navigator] の場合



出力種別	カメラメモ付き画像のみを転送するか、すべてのファイルを転送するか選択できます。
作成者	登録文章の作成者を次のいずれかから選択します。 <ul style="list-style-type: none"> 規定値を指定 取得先を指定
保管期限	文章の保管期限を次のいずれかから選択します。 <ul style="list-style-type: none"> 無期限 期限あり (保管日数を指定)
文書状態	文章の作成状態を次のいずれかから選択します。 <ul style="list-style-type: none"> 作成中 完成

8. [OK] ボタンをクリックする

カメラメモ付き画像の転送設定が完了し、画像を転送できます。次の「画像を転送する」へ進んでください。

メモ

同じ設定で転送する場合には、転送のたびに設定を行う必要はありません。

参照

転送の操作について P.29

画像を転送する

はじめてCaplio Transfer Softwareのカメラメモ分類機能を使用する場合には、前述のように転送設定を行ってから転送しますが、一度転送の設定を済ませ、設定内容を変更する必要がない場合には、設定を行わずに転送のみ行うことができます。

設定内容を変更したいときは、「転送設定をする」(P.27)の手順で、設定を行ってから転送してください。

1. カメラまたはカードリーダーにSDメモリーカードをセットする
カメラの内蔵メモリーからの転送の場合には、この操作は必要ありません。
2. パソコンとカメラまたはカードリーダーを接続する
3. Windowsのスタートメニューから、[すべてのプログラム] または [プログラム] → [Caplio Transfer Software] → [転送] を選択する

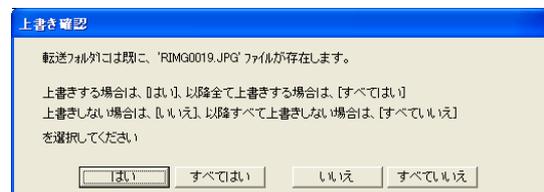
[転送設定] ダイアログボックスで [転送前に確認画面を表示する] にチェックマークを付けていない場合には、画像が転送されます。

チェックマークを付けた場合には、次のダイアログボックスが表示されます。



[転送] をクリックすると、画像が転送されます。

[設定情報] ダイアログボックスの設定によっては、転送先フォルダに同じ名前のファイルが存在した場合に、次のメッセージが表示されますので、いずれかのボタンをクリックしてください。



Chapter 4

カメラメモを付けて撮影する

Section 1

カメラメモについて

静止画には、カメラメモ（撮影内容などに関する情報）を付けて撮影することができます。
ここでは、カメラメモについて説明します。

注意

- 必ずカメラ本体の日時を設定してください。
- カメラメモ機能を使うには、SDメモリーカードが必要です。また、Ridoc Desk Navigator Ltのインストールが必要になります。
- カメラメモ機能は、Windowsでのみご使用になれます。

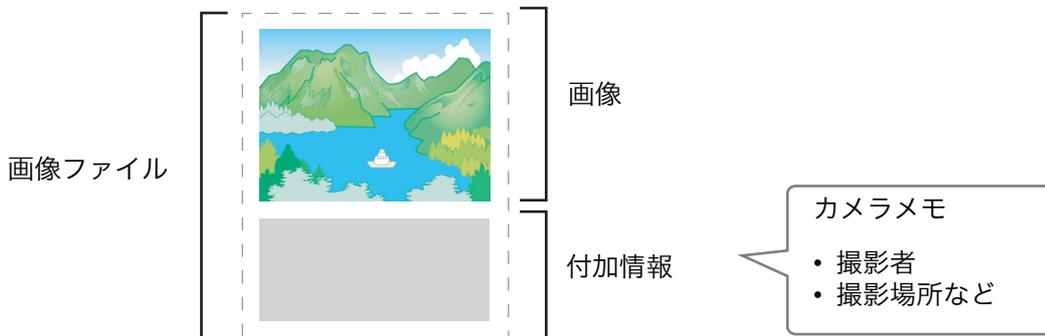
メモ

パソコンで静止画に付けたカメラメモを表示確認／修正する場合は、Ridoc Desk Navigator Ltを使います。静止画に付けたカメラメモを表示、修正、検索したり、静止画に付けた音声メモを再生したりすることができます。

詳しくは、Ridoc Desk Navigator Ltの「はじめてガイド」、ビューアのヘルプを参照してください。

カメラメモとは

カメラで撮影した画像ファイルには、情報を付加できる領域があります。この領域を使って静止画に関するメモを付加できるようにしたのが、カメラメモ機能です。



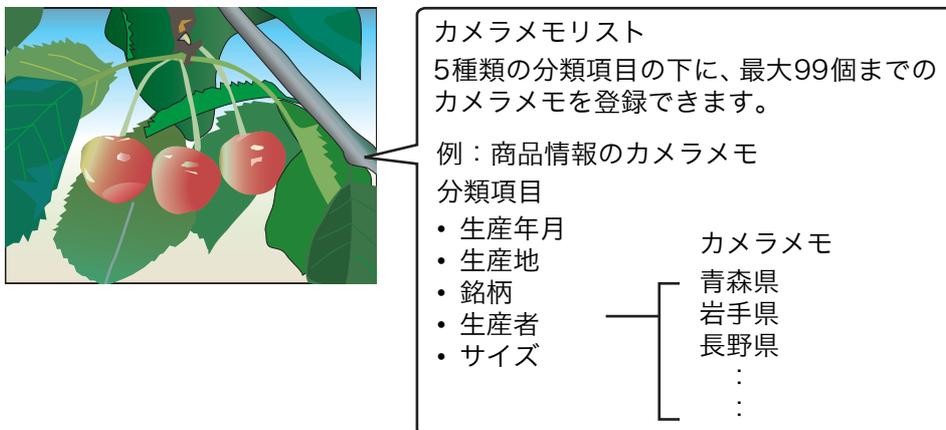
カメラメモを付加することによって、静止画の識別や検索、分類が簡単に行えます。カメラメモには、文字のメモと音声のメモの2種類があります。なお、動画、音声には、カメラメモを付けることはできません。

文字のカメラメモ

文字のカメラメモは、パソコンで一覧（カメラメモリスト）を作成して、カメラに転送し、撮影時に使いたいものを選択します。

カメラメモリストに登録されていない情報をメモに使いたいときには、カメラで一時的にメモを作成することもできます。このカメラメモを「一時メモ」といいます。

また、一時メモを使って、カメラメモリストの内容を一時的に修正して使うこともできます。



音声メモ

カメラメモリストには、カメラで録音した音声をカメラメモとして登録することができます。このカメラメモを「音声メモ」といいます。

メモ

- 一時メモと音声メモは、カメラの電源をオフにすると、消去されてしまいます。
- 付属ソフトのCaplio Transfer Softwareを使うと、カメラ内の静止画をカメラメモの内容によって分類し、パソコンのフォルダに転送、保存することができます。詳しくは、P.25を参照してください。

カメラメモの使いかたの流れ

1 パソコンでカメラメモリストを作って、カメラに転送する (☞ P.34)

- 付属ソフト List Editorを使って、カメラメモを登録したカメラメモリストを作成します。
 - 作成したカメラメモリストは、パソコンにカメラメモリストファイル (*.mta) として保存します。
 - SDメモリーカードをカメラにセットして、USBケーブルでパソコンとカメラを接続し、カメラメモリストをカメラ内のSDメモリーカードに転送します。
- ※カードリーダー等を利用して、パソコンから直接SDメモリーカードにカメラメモリストをコピーして使うこともできます。
- ※List Editorは、カメラの [USB接続] が [マスストレージ] に設定されているときには、カメラメモリストをカメラに転送することはできません。[USB接続] を [オリジナル] に設定してください。

2 カメラメモ付き撮影をする (☞ P.40)

- カメラのセットアップメニューで、カメラメモモードを [MODE1]、[MODE2] から選択します。(☞ P.40)
- カメラメモリストの保存されたSDメモリーカードをカメラにセットして、撮影モードでカメラメモリストを表示し、使いたいカメラメモを選択して、撮影します。(☞ P.40)
- 音声記録機能を使って、音声メモを作成し、静止画に付けることができます。(☞ P.52)
- 一時的にメモを作成し (一時メモ)、静止画に付けることができます。(☞ P.43)
- 撮影済みの静止画に後からカメラメモを付けることができます。(☞ P.49)
- 静止画に付けたカメラメモを別のカメラメモに変更することができます。(☞ P.50)

3 静止画をパソコンへ転送する

カメラとパソコンを付属のUSBケーブルを使って接続し、パソコンに静止画を転送します。

- カメラの [USB接続] を [マスストレージ] にして、[ファイル] メニューの [文書登録] → [ファイル取り込み] を選択してカード内のファイルを指定する。
- Ridoc Desk Navigator Ltと同時にインストールされるAuto Documentリンクを使って取り込む。詳しくは、Ridoc Desk Navigator Ltの「Auto Documentリンクガイド」、ヘルプをご覧ください。
- カードリーダー等を利用して、[ファイル] メニューの [文書登録] → [ファイル取り込み] を選択してカード内のファイルを指定する。

Ridoc Desk Navigator LtとRICOH Gate Laが両方インストールされている場合は、RICOH Gate Laの [オプション設定] (☞ P.14) にある [USB接続時、自動保存を行う] のチェックをはずして下さい。

カメラの [USB接続] が [マスストレージ] に設定されている場合は、「RICOH Gate La」や「Auto Document リンク」は必要ありません。

※カードリーダー等を利用して、SDメモリーカードに記録された静止画をパソコンに取り込むこともできます。

4 付属ソフトRidoc Desk Navigator Ltで、カメラメモを検索、編集、印刷する

付属のソフトRidoc Desk Navigator Ltでカメラメモを検索、編集、印刷、音声メモの再生が行えます。

詳しくは、Ridoc Desk Navigator Ltの「はじめてガイド」、ビューアのヘルプを参照してください。

Section 2

カメラメモリストを作る

ここでは、カメラメモリストの作成方法について説明します。

カメラメモリストを作成する

カメラメモリストは、付属ソフトList Editorで作成します。

カメラメモリストを作成するときには、まず分類項目を作成し、その中にカメラメモを登録していきます。

分類項目は、最大5項目まで作成できます。分類項目内には、最大99個までのカメラメモが登録できます。

注意

List Editorは、Windowsにのみ対応しています。

メモ

- 他のアプリケーションで作成したCSV形式のカメラメモリストファイルをList Editorに読み込んでSDメモリーカードに保存し、カメラで使用することもできます。
- CSV形式のカメラメモリストファイルをList Editorに読み込むには、List Editorの[ファイル]メニューで[開く]を選択してファイル名を指定します。

List Editorの起動

1. Windowsの[スタート]メニューから、[すべてのプログラム]または[プログラム] → [Caplio Software] → [List Editor] を選択して起動する

List Editorの終了

1. ウィンドウの右上端にある[×] (閉じる) ボタンをクリックするか、または[ファイル]メニューで[終了] を選択して終了する

List Editorの使いかた

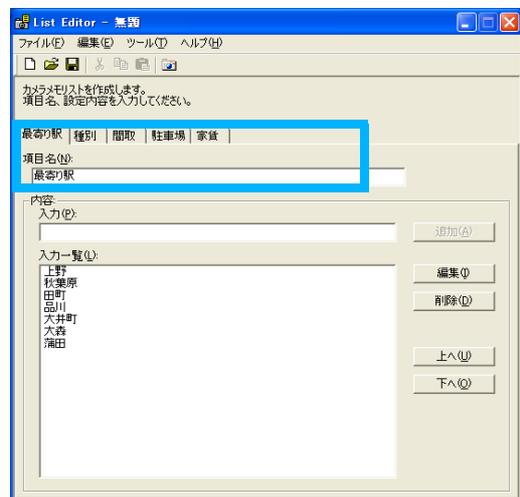
カメラメモリストファイルには、分類項目を最大5項目まで登録できます。各分類項目には、文字のメモを最大99個まで登録でき、音声メモを1個登録できます。なお、音声メモはカメラで登録します。

メモ

カメラのセットアップメニューで[カメラメモモード]を[MODE2]に設定した場合は、カメラメモの組み合わせをカメラで選択します。初めてカメラメモを使用する際に、一番目のカメラメモの組み合わせが[カメラメモ]画面に表示され、▼ボタンを押すたびに、2番目の組み合わせ、3番目の組み合わせ…と項目全体が切り替わります。あらかじめ使用する組み合わせが決まっている場合に便利です。

1. List Editorを起動する
2. [項目 1] タブで[項目名]に分類項目名を入力する

入力できる文字数は半角で20文字までです。



他の[項目]タブをクリックして表示を切り替えることができます。

3. [内容]の[入力]にカメラメモを入力する
4. [追加] ボタンをクリックする

入力できる文字数は半角で32文字までです。

5. 手順3、4を繰り返して、カメラメモをすべて入力する

カメラメモを削除するときは、削除するカメラメモを選択して [削除] ボタンをクリックします。

カメラメモの位置を移動するときは、移動するカメラメモを選択して [上へ] ボタンまたは [下へ] ボタンをクリックします。

6. 他にも分類項目やカメラメモを登録する場合は、登録する [項目] タブをクリックして、手順2～5を繰り返し、登録を行う

7. ツールバーの [上書き保存] アイコンをクリックするか、または [ファイル] メニューで [名前を付けて保存] を選択する

カメラメモリストをパソコンに保存します。保存しなくてもカメラ内のSDメモリーカードに転送することはできますが、念のため、パソコンに保存しておくことをお勧めします。

[名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。

8. 保存場所を選択して、ファイル名を入力する

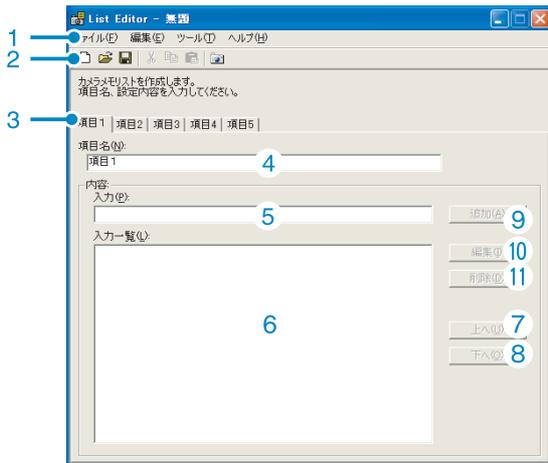
9. [ファイルの種類] で [mta Files (*.mta)] が選択されていることを確認する



csvファイルとして保存することもできますが、カメラでカメラメモリストとして使うにはmtaファイルを選択して保存してください。

10. [保存] ボタンをクリックする

List Editorの画面の見かた



- 1 メニューバー
カメラメモの保存や編集、カメラへの転送などができます。
- 2 ツールバー
メニューで行える機能の中から主なものがアイコンで表示され、クリックだけで簡単に機能を使うことができます。

□ 新規作成

新しいカメラメモを作成するための画面を開きます。

📁 開く

パソコンに保存されているカメラメモリストを開きます。

💾 上書き保存

カメラメモリストをパソコンに保存します。
ファイル形式は、mtaとcsvから選択できます。カメラでカメラメモリストとして使うにはmtaファイルを選択して保存してください。

📝 メモ

パソコンに保存したカメラメモリストを修正するときは、[開く] アイコンをクリックしてカメラメモリストを開いて修正し、[上書き保存] アイコンで上書き保存します。

✂️ 切り取り・📄 コピー・📄 貼り付け

選択されている文字を切り取り/コピー/貼り付けします。

📷 カメラへ転送

カメラメモリストをカメラのSDメモリーカード内の [TEMPLATE] フォルダに転送します。

📝 メモ

- 同じファイル名のカメラメモリストがSDメモリーカード内にあると、上書きされます。
 - カメラで使用できるカメラメモリストは、1枚のSDメモリーカードにつき1つだけです。
 - SDメモリーカード内にあるカメラメモリストは、新たにカメラメモリストが転送されるとカメラで使用できなくなることがあります。新しくカメラメモリストをSDメモリーカードに転送する場合は、SDメモリーカード内にあるカメラメモリストをあらかじめパソコンに保存しておいてください。
 - カメラのセットアップメニューから初期化を行っても、カメラメモリストは削除されません。カメラメモリストを削除する場合は、エクスプローラを使用してください。
- 3 [項目] タブ
分類項目名ごとに画面を切り替えることができます。
 - 4 [項目名]
項目名を入力するときに使います。
 - 5 内容 [入力]
各カメラメモを入力するときに使います。
 - 6 内容 [入力一覧]
登録されたカメラメモを一覧表示します。
 - 7 [上へ]
[内容] の [入力一覧] で選択されているカメラメモを1行上に移動します。
 - 8 [下へ]
[内容] の [入力一覧] で選択されているカメラメモを1行下に移動します。
 - 9 [追加]
[内容] の [入力一覧] の最後に新規のカメラメモを追加します。
 - 10 [編集]
[内容] の [入力一覧] で選択されているカメラメモが編集可能状態になります。
 - 11 [削除]
[内容] の [入力一覧] で選択されているカメラメモを削除します。

カメラメモリストをカメラに転送する

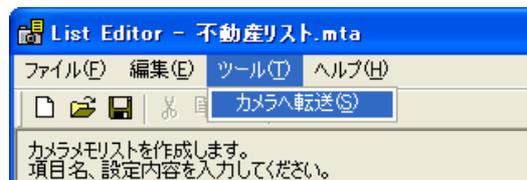
注意

カメラの [USB 接続] の設定が [マスタートレージ] になっている場合は、カメラメモリストを転送できません。[USB 接続] を [オリジナル] に設定してください。

List Editorから転送する

1. RICOH Gate La または Auto Document リンクが起動している場合は、終了する (☞ P.12)
2. カメラの電源がオフになっていることを確認する
3. カメラメモリストを保存する SD メモリーカードをカメラにセットする
4. 付属の USB ケーブルをパソコンの USB ポートに接続する
5. USB ケーブルをカメラの USB 端子に接続する
カメラの電源がオンになります。

6. ツールバーの [カメラへ転送] アイコンをクリックするか、または [ツール] メニューで [カメラへ転送] を選択する



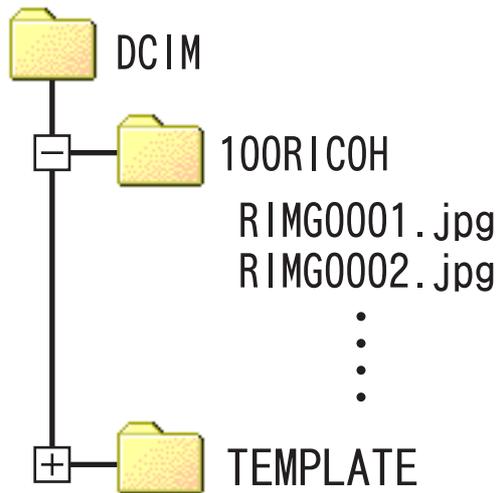
USB ケーブルを経由して、カメラにセットされた SD メモリーカードにカメラメモリストが保存され、[****.mta をカメラへ転送しました] (**** はファイル名) というメッセージが表示されます。

7. [OK] ボタンをクリックする
8. [ファイル] メニューで [終了] を選択する
List Editor が終了します。
ウィンドウの右上端にある [×] (閉じる) ボタンをクリックしても、List Editor を終了することができます。
9. カメラの電源ボタンを押して電源をオフにする
10. USB ケーブルをカメラとパソコンから外す
この後カメラの電源を再びオンにすると、SD メモリーカード内のカメラメモリストを使うことができます。
11. 必要に応じて、RICOH Gate La または Auto Document リンクを再起動する (☞ P.12)

カードリーダーを使うときは

カードリーダーを使うと、パソコンから直接SDメモリーカードにカメラメモリストを転送して保存することができます。

カメラメモリストは、SDメモリーカード内の [TEMPLATE] フォルダに保存してください。[TEMPLATE] フォルダは、SDメモリーカードをカメラで初期化すると、自動的に作成されます。



1. カードリーダーをパソコンに接続し、使用できる状態にしておく
2. SDメモリーカードをカードリーダーにセットする
3. 「List Editorの使いかた」(P.34)の手順1～7までの操作を行う
4. 保存場所にカードリーダーにセットしたSDメモリーカード内の [TEMPLATE] フォルダを選択して、ファイル名を入力する
5. [ファイルの種類] で [mta Files (*.mta)] が選択されていることを確認する
6. [保存] ボタンをクリックする
カメラメモリストがSDメモリーカード内に保存されます。SDメモリーカードをカメラにセットすると、カメラメモリストが使用できます。

Section 3

カメラメモを付けて撮影する

SDメモリーカード内に作成されたカメラメモリストを使って、静止画にメモを付けて撮影することができます。ここでは、カメラメモ付き撮影に関する操作について説明します。



参照

カメラメモを作成するには  P.34

カメラメモを付けて撮影する

静止画にカメラメモを付けて撮影することができます。

カメラメモは付属ソフトList Editorを使ってあらかじめパソコンで作成し、SDメモリーカードに保存してカメラにセットします。シーンモードでの撮影時にも、カメラメモ付き撮影ができます。

カメラメモモードを選択する

カメラメモ付き撮影をする前に、カメラのセットアップメニューでカメラメモモードを [MODE1]、[MODE2] から選択します。

MODE1 *購入時の設定	[カメラメモ] 画面で、各分類項目のカメラメモを変更することができます。
MODE2	複数の [カメラメモ] 画面から、各分類項目のカメラメモの組み合わせを選択します。初めてカメラメモを使用する場合は、一番目のカメラメモの組み合わせが [カメラメモ] 画面に表示され、▼ボタンを押すたびに、2番目の組み合わせ、3番目の組み合わせ…と項目全体が切り替わります。 各分類項目のカメラメモを個別に変更することはできません。

1. セットアップメニューを表示する

操作手順は、『使用説明書 (カメラ・導入編)』P.113を参照してください。

2. ▼ ボタンを押して、[カメラメモモード] を選び、▶ボタンを押す

3. ▲▼ボタンを押して、設定を選ぶ



4. MENU/OK ボタンを押す、または◀ボタンを押してMENU/OK ボタンを押す

カメラメモ付き撮影をする

事前に、カメラメモリストの入っているSDメモリーカードがカメラにセットされていることを確認してください。

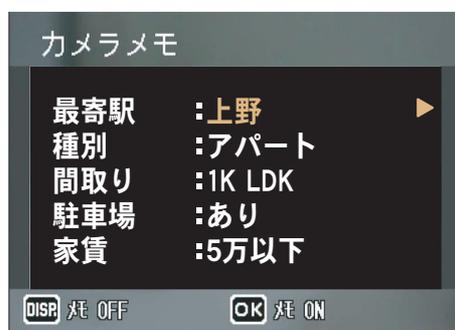
1. モードダイヤルを /CALC に合わせる

2. ADJ./MEMOボタンを押す

[カメラメモ] 画面が表示されます。

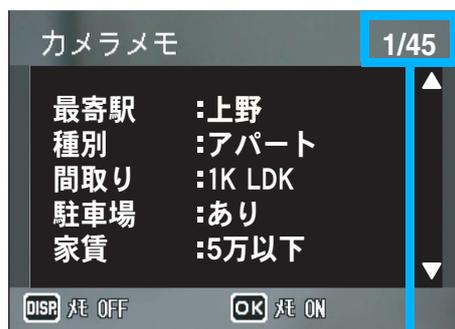
[カメラメモ] 画面には、カメラメモリストの分類項目と各分類項目のカメラメモが表示されます。

- [カメラメモモード] で [MODE1] を設定している場合：
カメラメモの内容を変更することができます。手順3へ進んでください。



- [カメラメモモード] で [MODE2] を設定している場合：

複数の [カメラメモ] 画面から、カメラメモの組み合わせを選択します。▲▼ボタンを押して使用したい組み合わせを表示し、手順7へ進んでください。



[現在の組み合わせ/総組み合わせ数] を表します。

この場合、各分類項目に45個のカメラメモが登録され、現在は1番目の組み合わせが表示されていることを示しています。

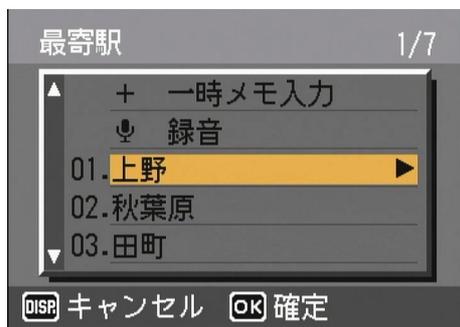
3. ▲▼ボタンを押して、カメラメモの内容を変更したい分類項目を選ぶ

4. ▶ ボタンを押し、カメラメモ一覧画面を表示する

5. ▲▼ボタンを押し、カメラメモを選び、MENU/OK ボタンを押し

一時メモが作成されている場合には、一時メモの内容が1行目まで表示されています。

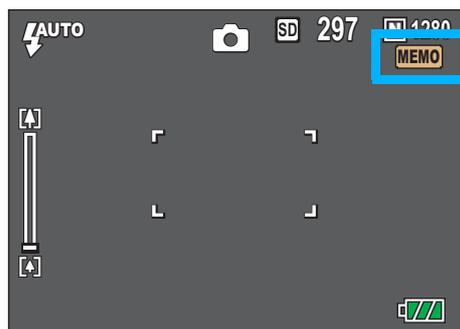
音声メモが作成されている場合には、スピーカーのマークが表示されています。[一時メモ入力]を選択すると、一時メモの入力ができます。(P.43) [録音]を選択すると、音声メモの録音ができます。(P.52)



6. 手順3～5を繰り返して、分類項目ごとにカメラメモを設定する

7. MENU/OK ボタンを押し、カメラメモを確定する

画面に [MEMO] マークが表示されます。このマークが表示されているときには、カメラメモ付きで撮影されます。



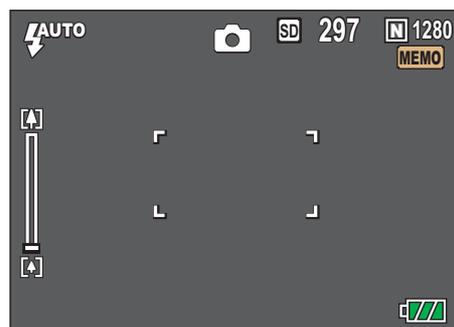
8. シャッターボタンを押し、撮影する

カメラメモ付き撮影を解除する

画面に [MEMO] マークが表示されているときは、カメラメモ付きで撮影されます。

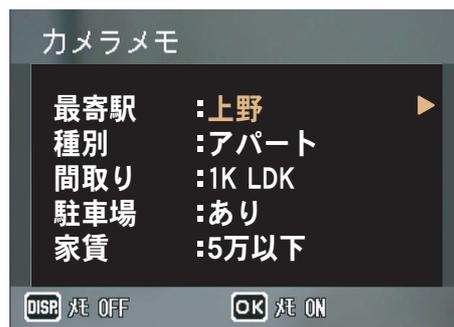
マークを消してカメラメモ付き撮影をやめるには、次のように操作します。

1. モードダイヤルを **📷/CALC** に合わせる



2. ADJ./MEMO ボタンを押し

[カメラメモ] 画面が表示されます。



3. DISP. ボタンを押し

[MEMO] マークが消え、カメラメモ付き撮影が解除されます。

ADJ./MEMO ボタンを押してから MENU/OK ボタンを押すと、再度 [MEMO] マークが表示され、カメラメモ付きで撮影されます。

メモ

- [カメラメモ] 画面が表示されている間でも、シャッターボタンを押して撮影することができます。
- 以下の場合にはカメラメモ付き撮影はできません。
 - オートブラケット
 - ホワイトバランスブラケット
 - 動画撮影
 - 音声録音
 - 音声付き静止画
- 撮影した静止画に後からカメラメモを付けることもできます。

参照

- 静止画に付けられたカメラメモを表示するには  P.47
- 撮影した静止画にカメラメモを付けるには  P.49
- 音声メモを登録／再生確認／変更するには  P.52
- カメラメモを作成するには  P.34
- カメラメモを一時的に作成／修正するには  P.43

カメラメモを一時的に作成／修正して使う（一時メモ）

カメラメモは、パソコンで作成や編集（修正）を行います。カメラで一時的に作成、修正して撮影時に静止画に付けることができます。カメラで作成、編集したカメラメモを「一時メモ」と呼びます。

一時メモは、カメラメモリストに登録されている分類項目（最大5項目）ごとに1件登録できます。

注意

- 一時メモはSDメモリーカード内のカメラメモリストには保存されず、カメラの電源をオフすると消去されます。
- 一時メモは、[カメラメモモード]で[MODE1]を選択している場合のみ作成、修正することができます。
- 一時メモに使える文字は、英数字だけです。
- 一時メモを作成する場合は、事前にパソコンでカメラメモリストを作成し、カメラに転送しておく必要があります。

参照

カメラメモを作成するには  P.34

一時メモを作成する

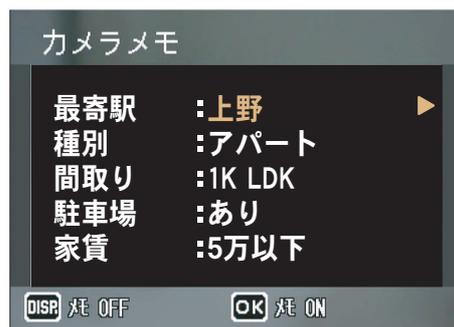
一時メモを作成するには、次のように操作します。

1. モードダイヤルを /CALC に合わせる、または （再生）ボタンを押す
2. セットアップメニューを表示し、[カメラメモモード]で[MODE1]を選択する

操作手順は、「カメラメモモードを選択する」( P.40)を参照してください。

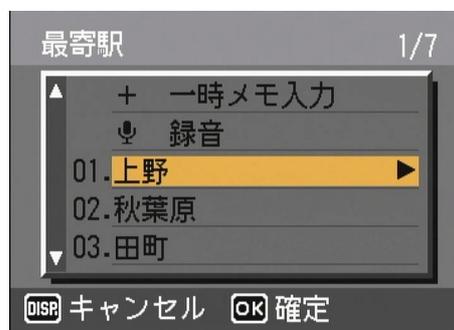
3. ADJ./MEMOボタンを押す

[カメラメモ] 画面が表示されます。

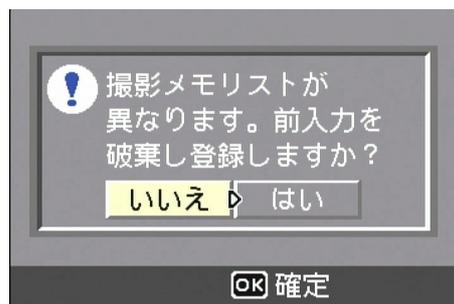


4. ▲▼ボタンを押して、一時メモを作成する分類項目を選ぶ

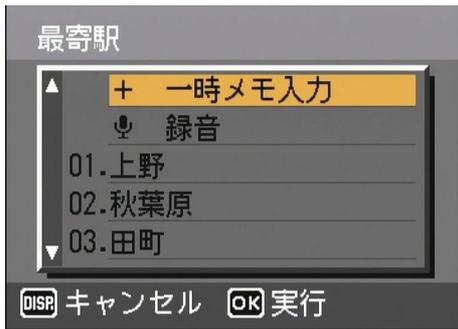
5. ▶ボタンを押し、カメラメモ一覧画面を表示する



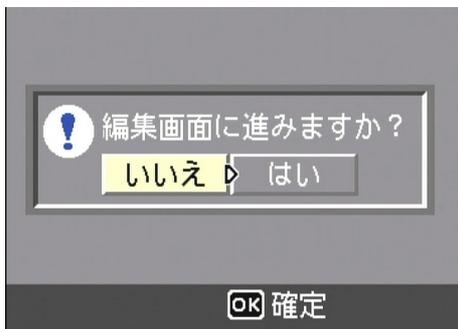
カメラメモ一覧画面が表示される前に、カメラメモの再登録確認画面が表示されることがあります。その場合は、▶ボタンで[はい]を選択してMENU/OKボタンを押し、カメラメモ一覧画面を表示してください。



6. ▲▼ ボタンを押して、[一時メモ入力] を選ぶ



7. MENU/OK ボタンを押す
編集確認画面が表示されます。



8. ▶ ボタンで[はい]を選択してMENU/OK ボタンを押す
キーボード画面が表示されます。



9. キーボードを使ってメモ（英数字）を入力する

カーソル移動	▲▼◀▶ ボタン
文字入力	ADJ./MEMO ボタン
キャンセル	DISP. ボタン
確定	MENU/OK ボタン

キーボードの使いかたは、「キーボードの使い方」(P.61)を参照してください。

10. 一時メモの入力が完了したら MENU/OK ボタンを押して、カメラメモ一覧画面に戻る

一時メモは、1行目まで表示されます。

11. MENU/OK ボタンを押して、[カメラメモ] 画面に戻る

12. 一時メモを作成する分類項目がほかにもある場合は、手順4～11を繰り返して、作成する

13. MENU/OK ボタンを押して、カメラメモを確定する

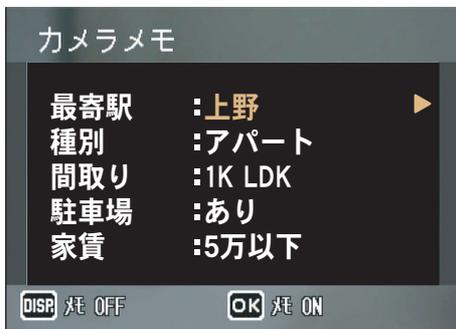
一時メモを修正する

一時メモを修正するには、次のように操作します。

1. モードダイヤルを **📷/CALC** に合わせる、または **▶** (再生) ボタンを押す
2. セットアップメニューを表示し、**[カメラメモモード]** で **[MODE1]** を選択する

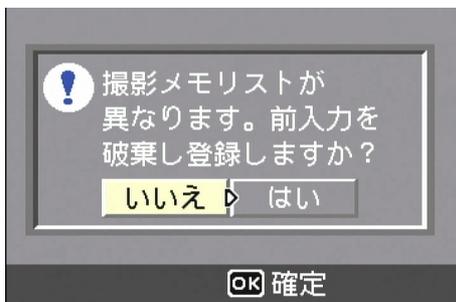
操作手順は、「カメラメモモードを選択する」(P.40) を参照してください。

3. **ADJ./MEMO** ボタンを押す
[カメラメモ] 画面が表示されます。



4. **▲▼** ボタンを押して、一時メモを修正する分類項目を選ぶ
5. **▶** ボタンを押し、カメラメモ一覧画面を表示する

カメラメモ一覧画面が表示される前に、カメラメモの再登録確認画面が表示されることがあります。その場合は、**▶** ボタンで **[はい]** を選択して **MENU/OK** ボタンを押し、カメラメモ一覧画面を表示してください。



6. **▲▼** ボタンを押して、一時メモ (+ の付いた項目) を選ぶ



7. **▶** ボタンを押す
編集確認画面が表示されます。
8. **▶** ボタンで **[はい]** を選択して **MENU/OK** ボタンを押す
キーボード画面が表示されます。
9. キーボードを使って一時メモ (英数字) を修正する

カーソル移動	▲▼◀▶ ボタン
文字入力	ADJ./MEMO ボタン
キャンセル	DISP. ボタン
確定	MENU/OK ボタン

キーボードの使いかたは、「キーボードの使い方」(P.61) を参照してください。

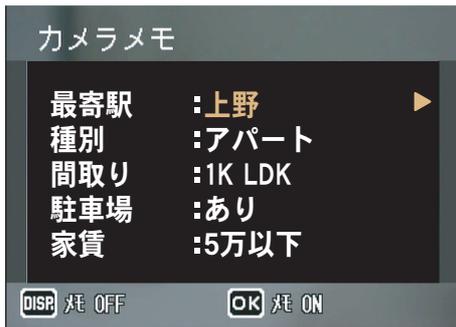
10. 一時メモの修正が完了したら **MENU/OK** ボタンを押して、カメラメモ一覧画面に戻る
11. **MENU/OK** ボタンを押して、[カメラメモ] 画面に戻る
12. 一時メモを修正する分類項目がほかにもある場合は、手順4~11を繰り返して、修正する
13. **MENU/OK** ボタンを押して、カメラメモを確定する

カメラメモを修正して一時メモを作成する

カメラメモリストに登録されているカメラメモを修正して、一時メモを作成することができます。

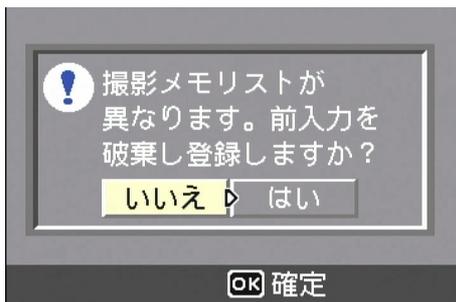
カメラメモを修正して一時メモを作成するには、次のように操作します。

1. モードダイヤルを **📷/CAL** に合わせる、または **▶** (再生) ボタンを押す
2. セットアップメニューを表示し、**[カメラメモモード]** で **[MODE1]** を選択する
操作手順は、「カメラメモモードを選択する」(P.40) を参照してください。
3. **ADJ./MEMO** ボタンを押す
[カメラメモ] 画面が表示されます。



4. **▲▼** ボタンを押して、修正するカメラメモの分類項目を選ぶ
5. **▶** ボタンを押し、カメラメモ一覧画面を表示する

カメラメモ一覧画面が表示される前に、カメラメモの再登録確認画面が表示されることがあります。その場合は、**▶** ボタンで **[はい]** を選択して **MENU/OK** ボタンを押し、カメラメモ一覧画面を表示してください。



6. **▲▼** ボタンを押して、修正するカメラメモを選ぶ



7. **▶** ボタンを押す
編集確認画面が表示されます。
8. **▶** ボタンで **[はい]** を選択して **MENU/OK** ボタンを押す
キーボード画面が表示されます。
9. キーボードを使ってカメラメモ(英数字)を修正する

カーソル移動	▲▼◀▶ ボタン
文字入力	ADJ./MEMO ボタン
キャンセル	DISP. ボタン
確定	MENU/OK ボタン

キーボードの使いかたは、「キーボードの使い方」(P.61) を参照してください。

10. カメラメモの修正が完了したら **MENU/OK** ボタンを押して、カメラメモ一覧画面に戻る
カメラメモを修正した一時メモは、1行目まで表示されます。
11. **MENU/OK** ボタンを押して、[カメラメモ] 画面に戻る
12. 修正するカメラメモがほかにもある場合は、手順4～11を繰り返して、修正する
13. **MENU/OK** ボタンを押して、カメラメモを確定する

静止画に付けたカメラメモを再生／削除する

カメラメモ付きで撮影した静止画のカメラメモを再生／削除することができます。再生した静止画がカメラメモ付きの場合は、画面の左上に [MEMO] マークが表示されます。また、静止画に音声メモが付けられている場合は、音声メモを再生する（聞く）ことができます。

注意

カメラメモは、[カメラメモモード] で [MODE1] を選択している場合のみ再生、削除することができます。[カメラメモモード] で [MODE2] を選択している場合は、DISP. ボタンでカメラメモの表示を確認することができます。☞ P.50

カメラメモを再生する

1. 再生ボタンを押して再生モードにする

最後に撮ったファイルが表示されます。動画の場合は、最初の1フレームが静止画像で表示されます。

2. セットアップメニューを表示し、[カメラメモモード] で [MODE1] を選択する

操作手順は、「カメラメモモードを選択する」(☞ P.40) を参照してください。

3. 再生ボタンでカメラメモ付き静止画を表示する

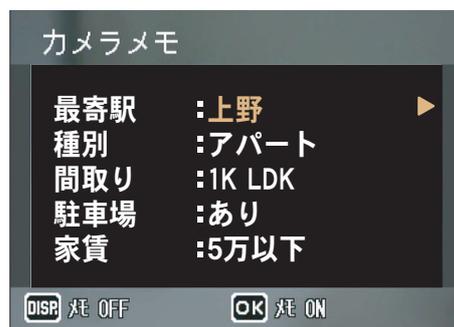
▶ ボタンを押すと、次の静止画、動画、音声を再生できます。

◀ ボタンを押すと、1つ前の静止画、動画、音声を再生できます。

◀▶ ボタンを押し続けると、高速で移動できます。

4. ADJ./MEMOボタンを押す

[カメラメモ] 画面が表示されます。静止画に付けられたカメラメモが確認できます。



MENU/OK ボタンを押すと [カメラメモ] 画面が消え、元の静止画に戻ります。音声メモを再生するには、▲▼ ボタンを押してスピーカーのマークを選び、ADJ./MEMO ボタンを押します。

カメラメモを削除する

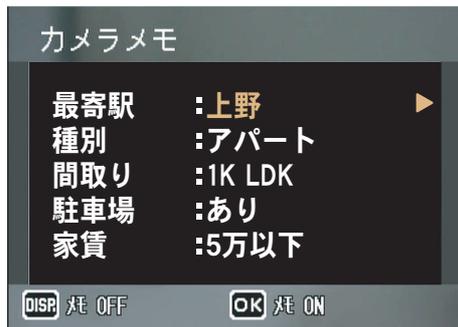
1. セットアップメニューを表示し、 [カメラメモモード]で[MODE1] を選択する

操作手順は、「カメラメモモードを選択する」(P.40)を参照してください。

2. カメラメモを削除する静止画を表示する

3. ADJ./MEMOボタンを押す

[カメラメモ]画面が表示されます。



4. DISP.ボタンを押す

カメラメモが削除されます。

参照

- カメラメモ付き撮影をするにはP.40
- 撮影した静止画にカメラメモを付けるにはP.49
- カメラメモを作成するにはP.34
- 音声メモを登録/再生確認/変更するにはP.52
- カメラメモを一時的に作成/修正するにはP.43

撮影した静止画にカメラメモを付けるには

撮影した静止画に後からカメラメモを付けることができます。

注意

後からカメラメモを付けることができるのは、[カメラメモモード]で[MODE1]を選択している場合のみです。

1. ▶ (再生) ボタンを押して再生モードにする

最後に撮ったファイルが表示されます。動画の場合は、最初の1フレームが静止画像で表示されます。

2. セットアップメニューを表示し、[カメラメモモード]で[MODE1]を選択する

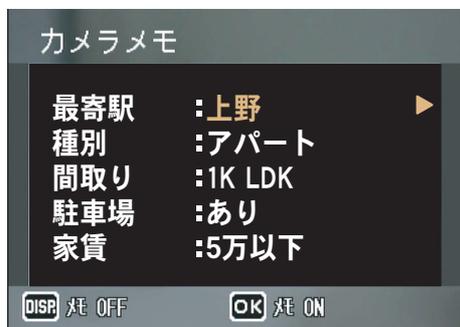
操作手順は、「カメラメモモードを選択する」(P.40)を参照してください。

3. ◀▶ ボタンでカメラメモを付ける静止画を表示する

▶ ボタンを押すと、次の静止画、動画、音声を再生できます。
◀ ボタンを押すと、1つ前の静止画、動画、音声を再生できます。
◀▶ ボタンを押し続けると、高速で移動できます。

4. ADJ./MEMO ボタンを押す

[カメラメモ] 画面が表示されます。



5. ▲▼ ボタンを押して、カメラメモの内容を変更したい分類項目を選ぶ

6. ▶ ボタンを押し、カメラメモ一覧画面を表示する

7. ▲▼ ボタンを押してカメラメモを選び、MENU/OK ボタンを押す

一時メモが作成されている場合は、一時メモの内容が1行目まで表示されています。

音声メモが作成されている場合には、スピーカーのマークが表示されています。カメラメモを付けない場合は、カメラメモ一覧画面で[未設定]を選びます。



8. 手順5~7を繰り返して、分類項目ごとにカメラメモを設定する

9. MENU/OK ボタンを押して、カメラメモを確定する

参照

- カメラメモ付き撮影をするには P.40
- カメラメモを作成するには P.34
- 音声メモを登録/再生確認/変更するには P.52
- カメラメモを一時的に作成/修正するには P.43

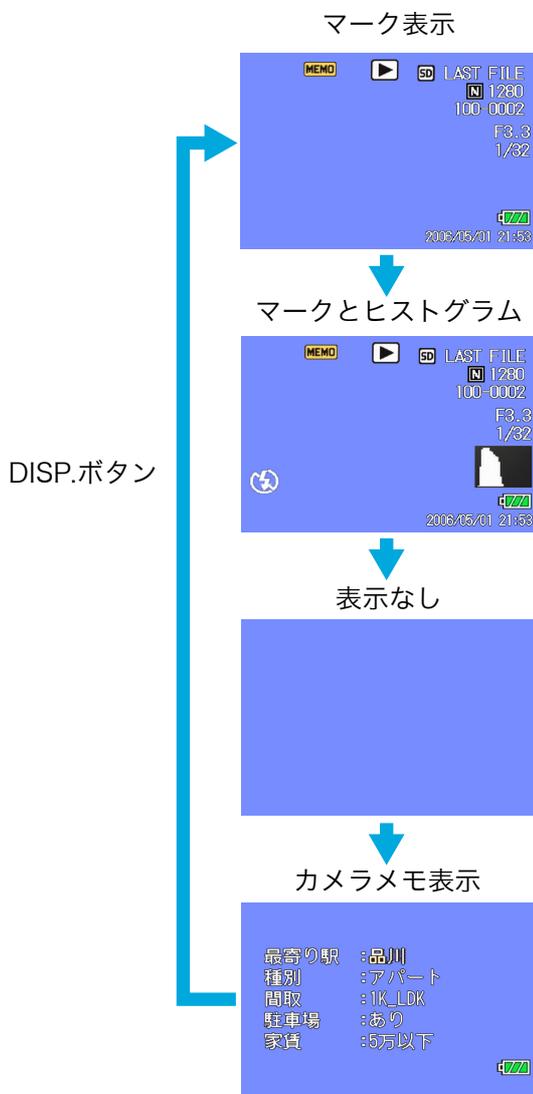
カメラ本体で静止画に付けた カメラメモを表示確認/変更 する

カメラメモを表示確認する

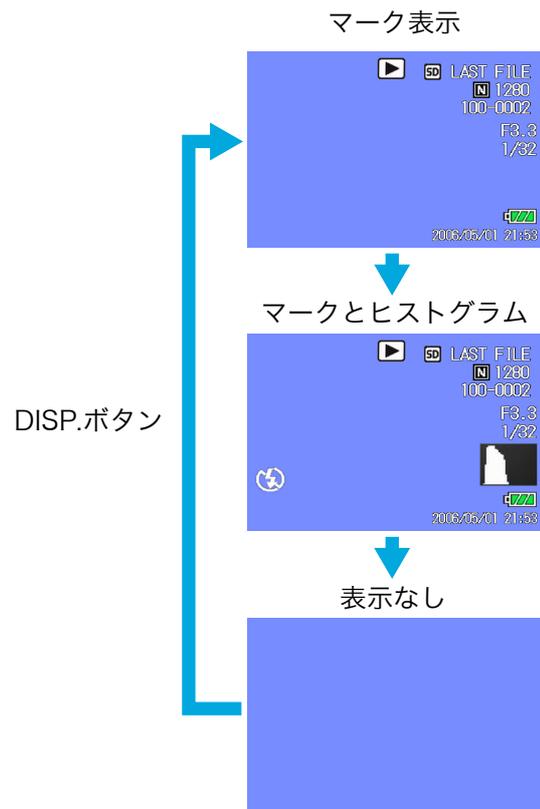
再生時にDISP.ボタンを押すと、カメラメモが付いている静止画の場合、マーク表示→マークとヒストグラム→表示なし→カメラメモ表示→…と切り替えることができます。

カメラメモが付いていない画像の場合、マーク表示→マークとヒストグラム→表示なし…と切り替えることができます。

●カメラメモが付いている場合



●カメラメモが付いていない場合



カメラメモを変更する

カメラメモを変更するには、次のように操作します。

注意

カメラメモを変更することができるのは、[カメラメモモード]で[MODE1]を選択している場合のみです。

1. (再生) ボタンを押して再生モードにする

最後に撮ったファイルが表示されます。動画の場合は、最初の1フレームが静止画像で表示されます。

2. セットアップメニューを表示し、[カメラメモモード]で[MODE1]を選択する

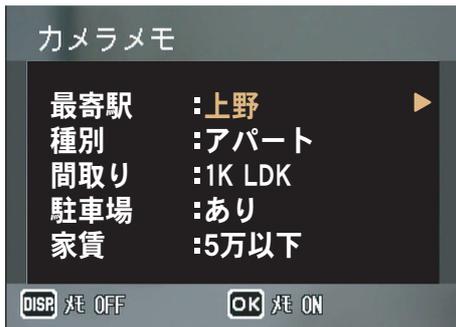
操作手順は、「カメラメモモードを選択する」(P.40)を参照してください。

3. ◀▶ ボタンでカメラメモを変更する 静止画を表示する

- ▶ ボタンを押すと、次の静止画、動画、音声を再生できます。
- ◀ ボタンを押すと、1つ前の静止画、動画、音声を再生できます。
- ◀▶ ボタンを押し続けると、高速で移動できます。

4. ADJ./MEMO ボタンを押す

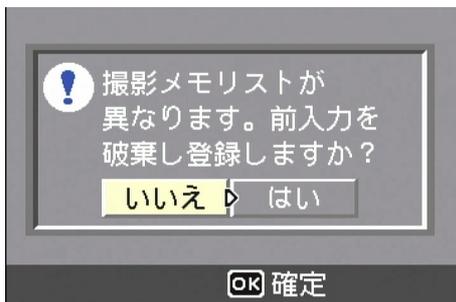
[カメラメモ] 画面が表示されます。



5. ▲▼ ボタンを押して、カメラメモの内容を変更する分類項目を選ぶ

6. ▶ ボタンを押し、カメラメモ一覧画面を表示する

変更前のカメラメモが現在セットされているSDメモリーカード内のメモリストファイルと異なる場合には、メッセージ画面が表示されます。その場合は、▶ ボタンで [はい] を選択してMENU/OK ボタンを押し、カメラメモ一覧画面を表示してください。



7. ▲▼ ボタンを押してカメラメモを選び、MENU/OK ボタンを押す

一時メモが作成されている場合は、一時メモの内容が1行目まで表示されています。音声メモが作成されている場合は、スピーカーのマークが表示されています。カメラメモを付けない場合は、カメラメモ一覧画面で [未設定] を選びます。



8. 手順5～7を繰り返して、カメラメモを変更する

9. MENU/OK ボタンを押してカメラメモを確定する

参照

- カメラメモ付き撮影をするには P.40
- 撮影した静止画にカメラメモを付けるには P.49
- 静止画に付けたカメラメモを見るには P.47
- カメラメモを作成するには P.34
- 音声メモを登録/再生確認/変更するには P.52
- カメラメモを一時的に作成/修正するには P.43

音声メモを登録（録音） / 再生確認 / 変更する

音声メモは、カメラメモリストに登録されている分類項目（最大5項目）ごとに1つ登録できます。録音できる音声メモの長さは、最大8秒までです。

音声メモは、シーンモードのときでも登録することができます。

登録した音声メモは、再生確認 / 変更することができます。

ADJ./MEMOボタンを使うと、通常のボタン操作より少ない手順で音声メモの登録（録音）や再生、変更ができます。

注意

音声メモは、[カメラメモモード]で[MODE1]を選択している場合のみ、登録 / 再生確認 / 変更することができます。

音声メモを登録する

音声メモを登録するには、次のように操作します。

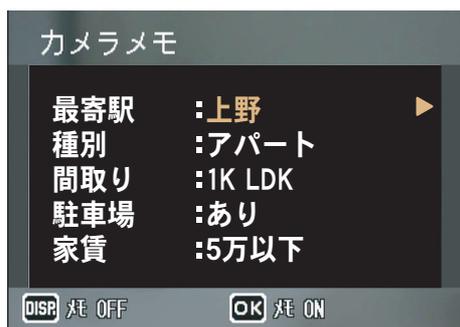
1. モードダイヤルを / CALS に合わせる、または （再生）ボタンを押す

2. セットアップメニューを表示し、[カメラメモモード]で[MODE1]を選択する

操作手順は、「カメラメモモードを選択する」（P.40）を参照してください。

3. 再生モードの場合は、カメラメモを付けたい静止画を表示する

4. ADJ./MEMOボタンを押す
[カメラメモ]画面が表示されます。



撮影モードの場合は、この画面でも、撮影、ズームが行えます。

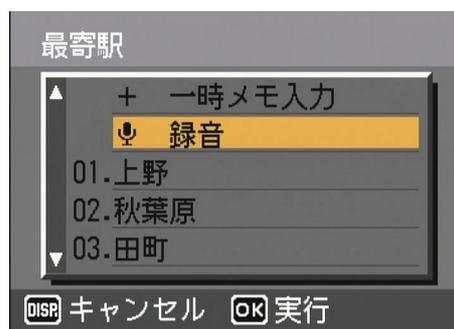
5. ▲▼ボタンを押して、音声メモを登録する分類項目を選ぶ

6. ▶ボタンを押し、カメラメモ一覧画面を表示する

ここで▶ボタンの代わりにADJ./MEMOボタンを押すと、操作の手順を簡略化することができます。

ADJ./MEMOボタンを押すと、手順7、8を省いて、手順9へ進みます。音声の録音が終わると[カメラメモ]画面に戻ります。

7. ▲▼ボタンを押して、[録音]を選ぶ



8. MENU/OK ボタンを押し、録音画面を表示する



9. シャッターボタンを押す

音声の録音が始まります。8秒まで録音できます。

音声の録音を途中で停止したいときは、シャッターボタンを半押しします。

音声の録音が停止すると、カメラメモ一覧画面に戻ります。

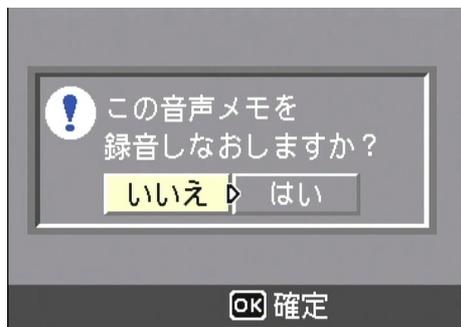
10.▶ボタンを押す

音声の再生画面が表示されます。



11.シャッターボタンを押す

録音した音声再生され、内容を確認できます。途中で停止したいときは再度シャッターボタンを押します。再生を停止または終了すると、再登録確認画面が表示されます。



12.[いいえ]を選択してMENU/OKボタンを押す

カメラメモ一覧画面に戻ります。録音し直す場合は、[はい]を選択してMENU/OKボタンを押し、手順9からやり直します。

13.MENU/OKボタンを押す

[カメラメモ]画面に戻ります。

14.ほかにも登録したい音声メモがある場合は、手順5～13を繰り返して、変更する

15.MENU/OKボタンを押して、カメラメモを確定する

メモ

- 音源からマイクまでの距離は、20cm以内にしてください。
- マイク穴に指がかかり、穴をふさがないように注意してください。

参照

- カメラメモ付き撮影をするには P.40
- 静止画に付けられたカメラメモを表示するには P.47
- カメラメモを作成するには P.34

登録した音声メモを再生する

1. モードダイヤルを /CALC に合わせる、または (再生) ボタンを押して再生モードにする
2. セットアップメニューを表示し、[カメラメモモード] で [MODE1] を選択する
操作手順は、「カメラメモモードを選択する」(P.40) を参照してください。
3. 再生モードの場合は、音声メモを再生する静止画を表示する
4. ADJ./MEMO ボタンを押す
5. ▲▼ ボタンを押して、再生する音声メモの分類項目を選ぶ
6. ▶ ボタンを押して、カメラメモ一覧画面を表示する
ここで▶ ボタンの代わりに ADJ./MEMO ボタンを押すと、操作の手順を簡略化することができます。
ADJ./MEMO ボタンを押すと、手順7、8を省いて、手順9へ進みます。音声メモが再生されると、[カメラメモ] 画面に戻ります。
7. ▲▼ ボタンを押して [再生] を選ぶ
8. ▶ ボタンを押して再生画面を表示する
9. シャッターボタンを押す
音声メモが再生され、終了すると、再登録確認画面が表示されます。
10. [いいえ] を選択して MENU/OK ボタンを押す
カメラメモ一覧画面に戻ります。
11. MENU/OK ボタンを押す
[カメラメモ] 画面に戻ります。
12. ほかに再生したい音声メモがある場合は、手順5～11を繰り返して再生する

メモ

カメラメモに登録した音声メモは、カメラの電源をオフにすると消去されますが、静止画に音声メモが付けられている場合は、手順6で ADJ./MEMO ボタンを押すと再生できます。

登録した音声メモを変更する

1. モードダイヤルを /CALC に合わせる、または (再生) ボタンを押して再生モードにする
2. セットアップメニューを表示し、[カメラメモモード] で [MODE1] を選択する
操作手順は、「カメラメモモードを選択する」(P.40) を参照してください。
3. 再生モードの場合には、音声メモを変更する静止画を表示する
4. ADJ./MEMO ボタンを押す
5. ▲▼ ボタンを押して、変更する音声メモの分類項目を選ぶ
6. ▶ ボタンを押して、カメラメモ一覧画面を表示する
ここで▶ ボタンの代わりに ADJ./MEMO ボタンを押すと、操作の手順を簡略化することができます。
ADJ./MEMO ボタンを押すと、手順7、8を省いて、手順9へ進みます。音声メモを再録音すると、[カメラメモ] 画面に戻ります。
7. ▲▼ ボタンを押して [再生] を選ぶ
8. ▶ ボタンを押して再生画面を表示する
9. シャッターボタンを押す
音声メモが再生され、終了すると、再登録確認画面が表示されます。
10. [はい] を選択して MENU/OK ボタンを押す
11. シャッターボタンを押して、再録音を行う
録音が終わると、カメラメモ一覧画面に戻ります。
12. MENU/OK ボタンを押す
[カメラメモ] 画面に戻ります。
13. ほかに変更したい音声メモがある場合は、手順5～12を繰り返して変更する
14. MENU/OK ボタンを押して、カメラメモを確定する

Section 4

パソコンでカメラメモを表示／編集する

ここでは、カメラメモ付き撮影に関する操作について、Ridoc Desk Navigator Ltの簡単な使い方を説明します。

注意

Ridoc Desk Navigator Ltは、Windowsにのみ対応しています。

参照

カメラメモを作成するには  P.34

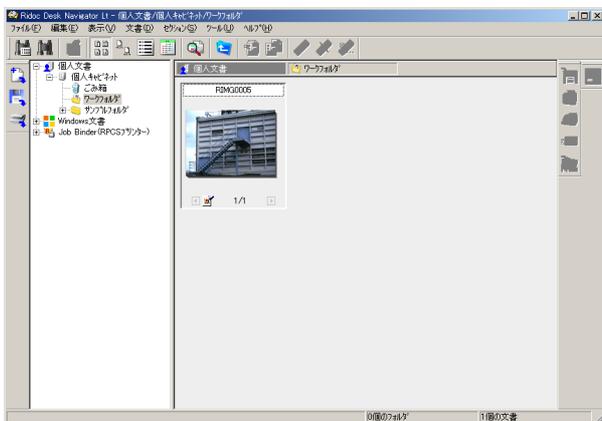
パソコンでカメラメモを表示 ／確認／修正する

1. Ridoc Desk Navigator Ltを起動し、カメラメモ付きで撮影した画像を表示する

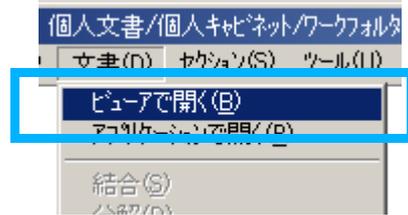
Ridoc Desk Navigator Ltでは画像も文書の1つとして扱います。

Ridoc Desk Navigator Ltにカメラから画像を取り込む方法には、次の種類があります。

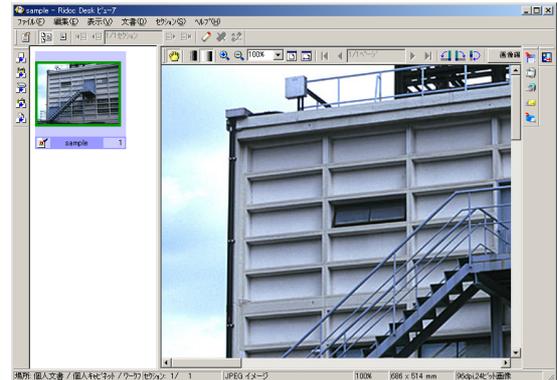
- カメラの [USB接続] を [マスメージ] にして、[ファイル] メニューの [文書登録] → [ファイル取り込み] を選択してカメラ内のファイルを指定する。
- Ridoc Desk Navigator Ltと同時にインストールされる Auto Document リンクを使って取り込む。
- カードリーダー等を利用して、[ファイル] メニューの [文書登録] → [ファイル取り込み] を選択してカード内のファイルを指定する。



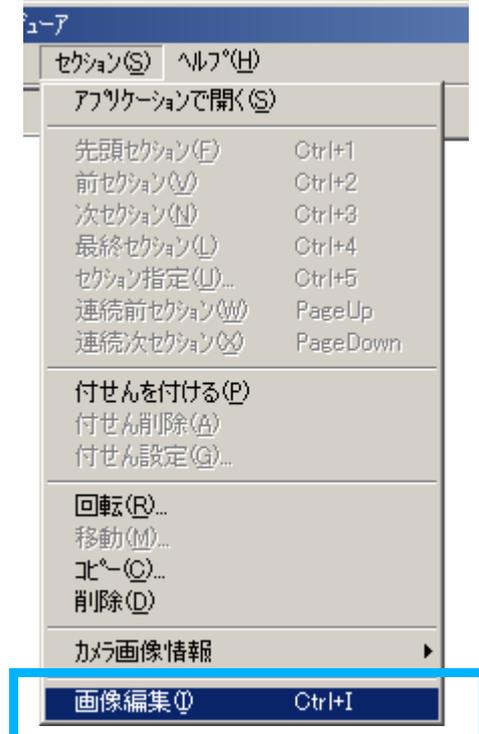
2. 画像をクリックして選択し、[文書] メニューで [ビューアで開く] を選択する



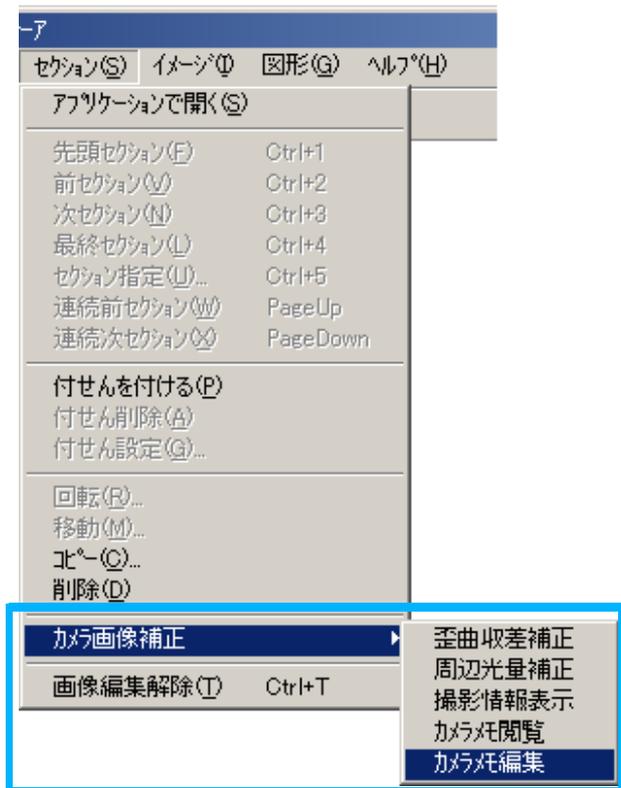
選択した画像が文書ビューアで表示されます。



3. [セクション] メニューで [画像編集] を選択する



4. [セクション] メニューで [カメラ画像補正] → [カメラメモ編集] を選択する



[カメラメモ編集] ダイアログボックスが表示されます。



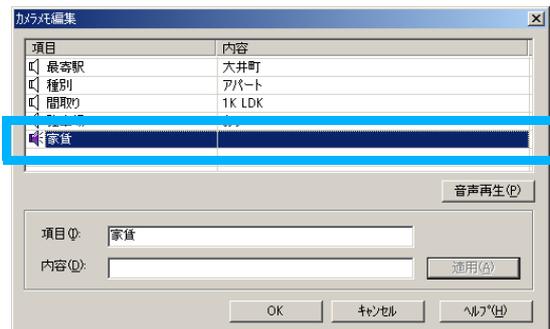
5. [項目:] [内容:] に表示されたメモ内容を修正する
6. [適用] ボタンをクリックする
7. 修正したいメモが他にもある場合には、手順5～6を繰り返す
8. [OK] ボタンをクリックする

メモ

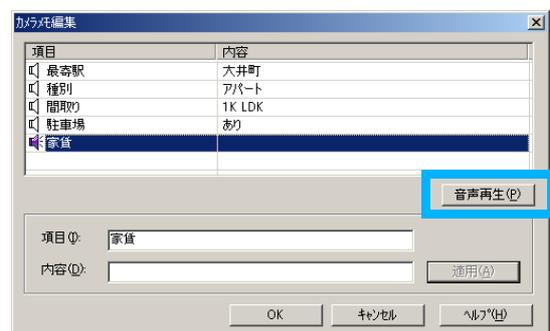
- ここで編集したカメラメモは、Ridoc Desk Navigator Ltのプロパティのメモには反映されません。
- 文書ビューアの [セクション] メニューで [画像編集解除] → [編集内容を破棄する] を選択しても、文書ビューアを終了するまでカメラメモの編集内容は保持されます。文書ビューアを終了すると、編集内容は破棄されます。

静止画に付けた音声メモを再生確認する

1. 「パソコンでカメラメモを表示/確認/修正する」(P.56) の手順1～4を行う
2. メモの一覧で、再生したい音声付きのメモをクリックする



3. [音声再生] ボタンをクリックする



カメラメモを検索する

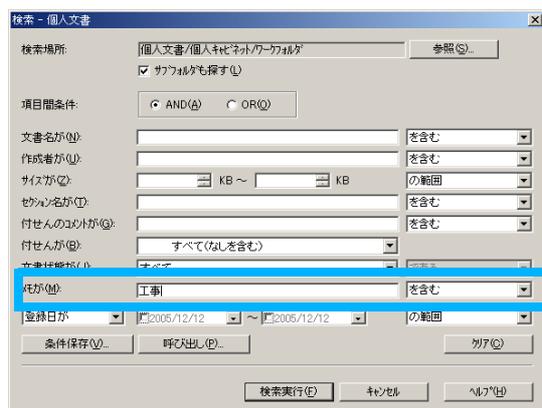
カメラメモ付きの画像をRidoc Desk Navigator Ltに登録すると、プロパティのメモ欄にカメラメモがコピーされます。このプロパティのメモを検索するには次のようにします。

1. [ファイル] メニューで [検索] を選択する



2. [検索] ダイアログボックスが表示されるので、検索条件を入力する

[メモが] の欄に検索したいメモのキーワードを入力してください。



3. [検索実行] ボタンをクリックする

検索結果ダイアログボックスが表示されます。

4. [結果一覧表示] ボタンをクリックする

検索結果文書一覧画面が表示されます。この画面からも文書ビューアで画像を開き編集することができます。

注意

Ridoc Desk Navigator Ltの [ツール] → [機能拡張] の [接続先] からCaplioを追加し、ツリー表示の [Caplio] から直接 [個人文書] に画像を登録した場合は、カメラメモはプロパティのメモにはコピーされません。

カメラメモを印刷する

カメラメモ付きの画像をRidoc Desk Navigator Ltに登録すると、文書プロパティのメモ欄にカメラメモがコピーされます。このメモと画像を1枚に印刷することができます。印刷の種類には次の2種類あります。

- 静止画の横にカメラメモを印刷する
- 静止画にカメラメモを合成して印刷する

1. [ツール] メニューの [機能拡張] を選択する

[機能拡張] ダイアログボックスが表示されます。



2. [ツール] アイコンをクリックし、[選択できる機能] から [文書画像一覧印刷] を選択し [追加] ボタンをクリックする

[設定された機能] に [文書画像一覧印刷] が追加されます。

3. [OK] ボタンをクリックする

4. Ridoc Desk Navigator Ltの [個人文書] から印刷する画像を選択する

5. [ファイル] メニューで [文書画像一覧印刷] を選択する



6. [レイアウト] で (1 × 3) または (1 × 1) を選択する

1 × 3 は静止画の横にメモが印刷されます。1 × 1 は静止画にメモが合成されて印刷されます。

7. (1 × 3) のレイアウトの場合には、[印刷項目] の [メモ] にチェックマークをつけ、(1 × 1) のレイアウトの場合には、[画像メモ] にチェックマークを付ける

(1 × 1) のレイアウトの場合には、[メモ詳細設定] ボタンをクリックすると、メモの位置や色が指定できます。

8. [OK] ボタンをクリックする

[メモ詳細設定] ダイアログボックスの使いかた



1 [印刷位置]
画像の上にメモの文字を配置するときの位置を選択します。

2 [色の設定]
メモの色を設定できます。

[文字]
[色の設定] ダイアログボックスが表示され、メモの文字色を設定できます。

[背景]
[色の設定] ダイアログボックスが表示され、メモの背景色を設定できます。

[枠線]
[色の設定] ダイアログボックスが表示され、メモを囲む枠線色を設定できます。

[透過にする]
チェックマークを付けると、文字の背景は透明（塗りつぶしなし）になります。

[枠線印刷]
チェックマークを付けると、メモを囲む枠線を印刷します。

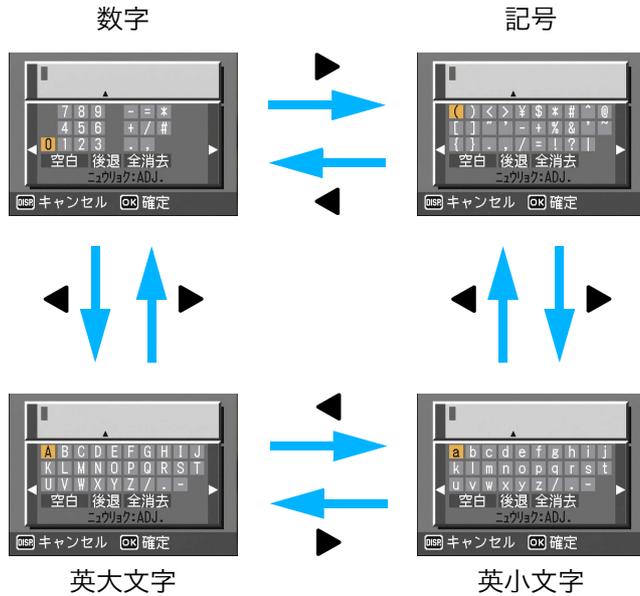
付録

キーボードの使い方

キーボード画面は、次のように操作します。

■文字の種類を切り替える

キーボードの左右の端の文字にカーソルがあるときに、◀▶ ボタンを押すと、文字の種類を数字、記号、英小文字、英大文字に切り替えることができます。



■文字を入力する

1. ▲▼◀▶ ボタンでカーソルを移動し、入力したい文字を選ぶ
2. ADJ./MEMO ボタンを押す
入力編集エリアの下部に表示された▲マークの位置まで入力できます。



■空白（スペース）を入力する

1. ▲▼◀▶ ボタンで [空白] を選ぶ
2. ADJ./MEMO ボタンを押す



■文字を挿入する

1. ▲▼◀▶ ボタンでキーボードの最上段のいずれかの文字を選ぶ
2. ▲ ボタンを押す
入力済みの文字の右側にカーソルが移動します。

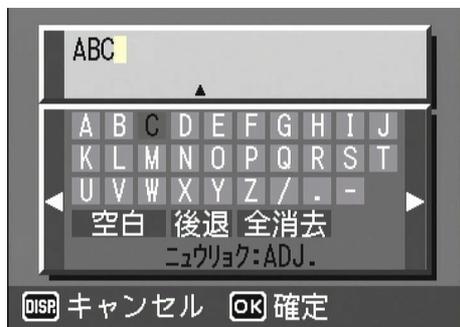


3. ◀▶ ボタンで挿入したい文字の直後（右側）の文字を選ぶ
4. ▼ ボタンを押してカーソルをキーボードに戻す
5. ▲▼◀▶ ボタンで挿入したい文字を選ぶ
6. ADJ./MEMO ボタンを押す



■文字を1文字消去する

1. ▲▼◀▶ ボタンでキーボードの最上段のいずれかの文字を選ぶ
2. ▲ ボタンを押す
入力済みの文字の右側にカーソルが移動します。

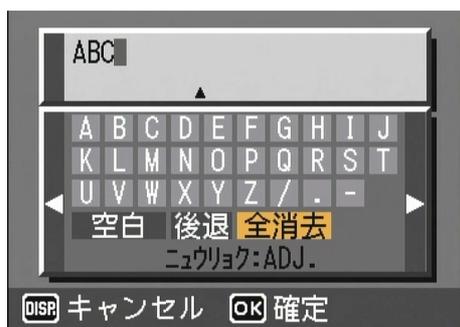


3. ◀▶ ボタンで消したい文字の直後（右側）の文字を選ぶ
4. ▼ ボタンを押してカーソルをキーボードに戻す
5. ▲▼◀▶ ボタンで [後退] を選び、ADJ./MEMO ボタンを押す



■入力した文字をすべて消去する

1. ▲▼◀▶ ボタンで [全消去] を選ぶ
2. ADJ./MEMO ボタンを押す



お困りのときは

症状1 画像の取り込みができないときには・・・

対処方法1

Caplioレスキューを起動して、メッセージに従って操作してください。

対処方法2

カメラのセットアップメニューにある、[USB接続] が転送方法と合っていない可能性があります。転送に使用するソフトウェアに合わせて、[USB接続] を変更してください。

転送に使用するソフトウェア	[USB接続] の設定
カメラをドライブとして認識させるとき	マストレージ
Auto Documentリンク	オリジナル
RICOH Gate La	オリジナル
Caplio Transfer Software	オリジナル

対処方法3

カメラが正しくパソコンに認識されていない可能性が考えられます。

次のように操作してみてください。

●Windows 98/98SE/Meの場合には・・・

Step1：まず、次の操作をしてみてください。

- ① Caplio Software CD-ROMをパソコンにセットします。
- ② パソコンとカメラをUSBケーブルで接続します。
- ③ Windowsのタスクバーにある [スタート] をクリックして [スタート] メニューを表示します。
- ④ [設定] を選択し、[コントロールパネル] をクリックします。
- ⑤ コントロールパネルが表示されるので、[システム] アイコンをダブルクリックします。
- ⑥ [システムのプロパティ] 画面が表示されるので、[デバイスマネージャ] タブをクリックします。
- ⑦ [デバイスマネージャ] タブが表示されるので、[その他のデバイス] の左に表示された [+] をクリックします。
- ⑧ 下位に表示された項目に [Caplio 500Gwide] がないか確認します。もしあれば、[Caplio 500Gwide] をクリックして、[デバイスマネージャ] タブの下の方に表示されている [削除] ボタンをクリックします。
[Caplio 500Gwide] が削除されます。
- ⑨ [閉じる] ボタンをクリックして [システムのプロパティ] 画面を閉じます。
- ⑩ コントロールパネルに戻るので、[アプリケーションの追加と削除] アイコンをダブルクリックします。
- ⑪ [アプリケーションの追加と削除のプロパティ] 画面が表示されるので、[Caplio Software] を選択し、[追加と削除] ボタンをクリックします。
Caplio Softwareがアンインストールされます。
- ⑫ [OK] ボタンをクリックして [アプリケーションの追加と削除のプロパティ] 画面を閉じます。

- ⑬ [×] (閉じる) ボタンをクリックしてコントロールパネルを閉じます。
- ⑭ パソコンとカメラの電源を切ります。
- ⑮ 再度パソコンの電源を入れ、CD-ROMから、ソフトウェアの再インストールを行います。
※この時、カメラは接続しないでください。
- ⑯ カメラとパソコンをUSBケーブルで接続します。
パソコンがカメラを認識すると、[新しいハードウェア] の画面が起動し、カメラがパソコンに登録されます。

Step2：まだカメラが正しくパソコンに認識されない場合は、次の操作をしてみてください。

- ① Caplio Software CD-ROMをパソコンにセットします。
- ② パソコンとカメラをUSBケーブルで接続します。
- ③ Windowsのタスクバーにある [スタート] をクリックして [スタート] メニューを表示します。
- ④ [設定] を選択し、[コントロールパネル] をクリックします。
- ⑤ コントロールパネルが表示されるので、[システム] アイコンをダブルクリックします。
- ⑥ [システムのプロパティ] 画面が表示されるので、[デバイスマネージャ] タブをクリックします。
- ⑦ [デバイスマネージャ] タブが表示されるので、[ポート (COM/LPT)] の左に表示された [+] をクリックします。
- ⑧ [ポート (COM/LPT)] の下位に表示された [RICOH Camera Port] に不明なデバイスのマーク (!) がついていないかどうか確認します。もしあれば、それを選択し、[デバイスマネージャ] タブの下の方に表示されている [削除] ボタンをクリックして削除します。
- ⑨ [ユニバーサルシリアルバスコントローラ] の左に表示された [+] をクリックします。
- ⑩ [ユニバーサルシリアルバスコントローラ] の下位に表示された [RICOH USB Virtual Com] に不明なデバイスのマーク (!) がついていないかどうか確認します。もしあれば、それを選択し、[デバイスマネージャ] タブの下の方に表示されている [削除] ボタンをクリックして削除します。
- ⑪ [閉じる] ボタンをクリックして [システムのプロパティ] 画面を閉じます。
- ⑫ コントロールパネルに戻るので、[アプリケーションの追加と削除] アイコンをダブルクリックします。
- ⑬ [アプリケーションの追加と削除のプロパティ] 画面が表示されるので、[Caplio Software] を選択し、[追加と削除] ボタンをクリックします。
Caplio Softwareがアンインストールされます。
- ⑭ [OK] ボタンをクリックして [アプリケーションの追加と削除のプロパティ] 画面を閉じます。
- ⑮ [×] (閉じる) ボタンをクリックしてコントロールパネルを閉じます。
- ⑯ パソコンとカメラの電源を切ります。
- ⑰ 再度パソコンの電源を入れ、CD-ROMから、ソフトウェアの再インストールを行います。
※この時、カメラは接続しないでください。
- ⑱ カメラとパソコンをUSBケーブルで接続します。
パソコンがカメラを認識すると、[新しいハードウェア] の画面が起動し、カメラがパソコンに登録されます。

●Windows 2000の場合には・・・

Step1：まず、次の操作を試してみてください。

- ① Caplio Software CD-ROMをパソコンにセットします。
- ② パソコンとカメラをUSBケーブルで接続します。
- ③ Windowsのタスクバーにある [スタート] をクリックして [スタート] メニューを表示します。
- ④ [設定] を選択し、[コントロールパネル] を選択します。
- ⑤ コントロールパネルが表示されるので、[システム] アイコンをダブルクリックします。
- ⑥ [システムのプロパティ] 画面が表示されるので、[ハードウェア] タブをクリックします。
- ⑦ [ハードウェア] タブが表示されるので、[デバイスマネージャ] ボタンをクリックします。
- ⑧ [デバイスマネージャ] 画面が表示されるので、[その他のデバイス] の左に表示された [+] をクリックします。
- ⑨ 下位に表示された項目に [Caplio 500Gwide] がないか確認します。もしあれば、[Caplio 500Gwide] をクリックして、[操作] メニューの [削除] を選択します。
[Caplio 500Gwide] が削除されます。
- ⑩ [×] (閉じる) ボタンをクリックして [デバイスマネージャ] 画面を閉じます。
- ⑪ [OK] ボタンをクリックして [システムのプロパティ] 画面を閉じます。
- ⑫ コントロールパネルに戻るので、[アプリケーションの追加と削除] アイコンをダブルクリックします。
- ⑬ [アプリケーションの追加と削除] 画面が表示されるので、[Caplio Software] を選択し、[変更と削除] ボタンをクリックします。
Caplio Softwareのソフトがアンインストールされます。
- ⑭ [×] (閉じる) ボタンをクリックして [アプリケーションの追加と削除] 画面を閉じます。
- ⑮ [×] (閉じる) ボタンをクリックしてコントロールパネルを閉じます。
- ⑯ パソコンとカメラの電源を切ります。
- ⑰ 再度パソコンの電源を入れ、CD-ROMから、ソフトウェアの再インストールを行います。
※この時、カメラは接続しないでください。
- ⑱ カメラとパソコンをUSBケーブルで接続します。

パソコンがカメラを認識すると、[新しいハードウェアが見つかりました] の画面が起動し、カメラがパソコンに登録されます。

Step2: まだカメラが正しくパソコンに認識されない場合は、次の操作を試してみてください。

- ① Caplio Software CD-ROMをパソコンにセットします。
- ② パソコンとカメラをUSBケーブルで接続します。
- ③ Windowsのタスクバーにある [スタート] をクリックして [スタート] メニューを表示します。
- ④ [設定] を選択し、[コントロールパネル] を選択します。
- ⑤ コントロールパネルが表示されるので、[システム] アイコンをダブルクリックします。
- ⑥ [システムのプロパティ] 画面が表示されるので、[ハードウェア] タブをクリックします。
- ⑦ [ハードウェア] タブが表示されるので、[デバイスマネージャ] ボタンをクリックします。
- ⑧ [デバイスマネージャ] 画面が表示されるので、[ポート (COMとLPT)] の左に表示された [+] をクリックします。
- ⑨ [ポート (COMとLPT)] の下位に表示された [RICOH Camera Port] に不明なデバイスのマーク (!) がついていないかどうか確認します。もしあれば、それをクリックし、[操作] メニューの [削除] を選択します。
- ⑩ [×] (閉じる) ボタンをクリックして [デバイスマネージャ] 画面を閉じます。
- ⑪ [OK] ボタンをクリックして [システムのプロパティ] 画面を閉じます。
- ⑫ コントロールパネルに戻るので、[アプリケーションの追加と削除] アイコンをダブルクリックします。
- ⑬ [アプリケーションの追加と削除] 画面が表示されるので、[Caplio Software] を選択し、[変更と削除] ボタンをクリックします。
Caplio Softwareがアンインストールされます。
- ⑭ [×] (閉じる) ボタンをクリックして [アプリケーションの追加と削除] 画面を閉じます。
- ⑮ [×] (閉じる) ボタンをクリックしてコントロールパネルを閉じます。
- ⑯ パソコンとカメラの電源を切ります。
- ⑰ 再度パソコンの電源を入れ、CD-ROMから、ソフトウェアの再インストールを行います。
※この時、カメラは接続しないでください。
- ⑱ カメラとパソコンをUSBケーブルで接続します。
パソコンがカメラを認識すると、[新しいハードウェアが見つかりました] の画面が起動し、カメラがパソコンに登録されます。

●Windows XPの場合には・・・

Step1：まず、次の操作を試してみてください。

- ① Caplio Software CD-ROMをパソコンにセットします。
- ② パソコンとカメラをUSBケーブルで接続します。
- ③ Windowsのタスクバーにある [スタート] をクリックして [スタート] メニューを表示します。
- ④ [コントロールパネル] をクリックします。
- ⑤ コントロールパネルが表示されるので、[クラシック表示に切り替える] をクリックします。

表示が変わり [システム] アイコンが表示されます。

- ⑥ [システム] アイコンをダブルクリックします。
- ⑦ [システムのプロパティ] 画面が表示されるので、[ハードウェア] タブをクリックします。
- ⑧ [ハードウェア] タブが表示されるので、[デバイスマネージャ] ボタンをクリックします。
- ⑨ [デバイスマネージャ] 画面が表示されるので、[その他のデバイス] の左に表示された [+] をクリックします。
- ⑩ 下位に表示された項目に [Caplio 500Gwide] がないか確認します。もしあれば、[Caplio 500Gwide] を右クリックしてメニューを表示し、[ドライバの更新] を選択します。
- ⑪ [ハードウェアの更新ウィザード] が起動します。

ここでパソコンのCD-ROMドライブにCaplio SoftwareのCD-ROMがセットされているかどうか確認します。もしされていなければ、CD-ROMをセットしてください。

- ⑫ [ソフトウェアを自動的にインストールする (推奨)] が選択されていることを確認して [次へ] ボタンをクリックします。
- ⑬ [ハードウェアの更新ウィザードの完了] 画面が表示されたら [完了] ボタンをクリックします。
- ⑭ [×] (閉じる) ボタンをクリックして [デバイスマネージャ] 画面を閉じます。
- ⑮ [OK] ボタンをクリックして [システムのプロパティ] 画面を閉じます。
- ⑯ [×] (閉じる) ボタンをクリックしてコントロールパネルを閉じます。
- ⑰ パソコンとカメラの電源を切ります。
- ⑱ 再度パソコンの電源を入れ、CD-ROMから、ソフトウェアの再インストールを行います。
※この時、カメラは接続しないでください。
- ⑲ カメラとパソコンをUSBケーブルで接続します。

パソコンがカメラを認識すると、[新しいハードウェア] の画面が起動し、カメラがパソコンに登録されます。

Step2：まだカメラが正しくパソコンに認識されない場合は、次の操作をしてみてください。

- ① Caplio Software CD-ROMをパソコンにセットします。
- ② パソコンとカメラをUSBケーブルで接続します。
- ③ Windowsのタスクバーにある[スタート]をクリックして[スタート]メニューを表示します。
- ④ [コントロールパネル] をクリックします。
- ⑤ コントロールパネルが表示されるので、[クラシック表示に切り替える] をクリックします。
表示が変わり [システム] アイコンが表示されます。
- ⑥ [システム] アイコンをダブルクリックします。
- ⑦ [システムのプロパティ] 画面が表示されるので、[ハードウェア] タブをクリックします。
- ⑧ [ハードウェア] タブが表示されるので、[デバイスマネージャ] ボタンをクリックします。
- ⑨ [デバイスマネージャ] 画面が表示されるので、[イメージングデバイス] の左に表示された [+] をクリックします。
- ⑩ [イメージングデバイス] の下位に表示された [Caplio 500Gwide] に不明なデバイスのマーク (!) がついていないかどうか確認します。もしあれば、表示されたその不明なデバイスマークを右クリックしてメニューを表示し、[ドライバの更新] を選択します。
- ⑪ [ハードウェアの更新ウィザード] が起動します。
ここでパソコンのCD-ROMドライブにCaplio SoftwareのCD-ROMがセットされているかどうか確認します。もしされていなければ、CD-ROMをセットしてください。
- ⑫ [ソフトウェアを自動的にインストールする (推奨)] が選択されていることを確認して [次へ] ボタンをクリックします。
- ⑬ [ハードウェアの更新ウィザードの完了] 画面が表示されたら [完了] ボタンをクリックします。
- ⑭ [×] (閉じる) ボタンをクリックして [デバイスマネージャ] 画面を閉じます。
- ⑮ [OK] ボタンをクリックして [システムのプロパティ] 画面を閉じます。
- ⑯ [×] (閉じる) ボタンをクリックしてコントロールパネルを閉じます。
ドライバーが正しくインストールされ、カメラがパソコンに正しく認識されるようになります。

対処方法4

Windows 98/98SE/Meの場合、COMポートの設定が誤っている可能性が考えられます。次のように操作してみてください。

- ① パソコンとカメラをUSBケーブルで接続します。
- ② Windowsのタスクバーにある[スタート]をクリックして[スタート]メニューを表示します。
- ③ [設定] を選択し、[コントロールパネル] をクリックします。
- ④ コントロールパネルが表示されるので、[システム] アイコンをダブルクリックします。
- ⑤ [システムのプロパティ] 画面が表示されるので、[デバイスマネージャ] タブをクリックします。
- ⑥ [デバイスマネージャ] タブが表示されるので、[ポート (COM/LPT)] の左に表示された [+] をクリックします。
- ⑦ [ポート (COM/LPT)] の下位に表示された [RICOH Camera Port] をクリックして、[デバイスマネージャ] タブの下の方に表示されている [プロパティ] ボタンをクリックします。
- ⑧ [RICOH Camera Portのプロパティ] 画面が表示されるので、[PortSelect] タブをクリックします。
- ⑨ [PortSelect] タブが表示されるので、[PortName] で使用していないCOM番号を選択します。現在カメラが割り当てられているポート (COM番号) の後ろには「*」がついています。USBドライバのインストール直後には、COM7が選択されているはずですので、COM8以降いずれかを選択してください。
- ⑩ [OK] ボタンをクリックして [RICOH Camera Portのプロパティ] 画面を閉じます。
- ⑪ [OK] ボタンをクリックして [システムのプロパティ] 画面を閉じます。
- ⑫ [×] (閉じる) ボタンをクリックしてコントロールパネルを閉じます。

対処方法5

カメラをUSBハブを経由して、パソコンに接続している場合は、カメラが正常に認識されていない可能性が考えられます。

次のようにUSBポートを変更してみてください。

- ・ パソコン本体のUSBポートに直接つないでみます。
- ・ ルートHUBが複数あれば、もう一方のポートに変更してみます。

なお、USB以外のハブを使用している場合は、USBハブを使用して接続し直してみてください。

対処方法6

電池が消耗している可能性が考えられます。

電池が消耗しているか確認して、消耗している場合は、新しい電池と交換してください。

対処方法7

パソコンのハードディスクの空き容量が足りない可能性が考えられます。

Windowsの動作に必要な空き容量と、それに加えて画像ファイル取り込み先ドライブにカメラ側のSDメモリーカードと同じ容量以上の空き容量があることを確認してください。

症状2 RICOH Gate Laの【オプション設定】で、【保存時、同じ画像は保存しない】にチェックを入れていても、同じ画像がパソコンに取り込まれてしまうときには・・・

対処方法

カメラの時計の設定が正しくない、もしくはカメラの時計情報がリセットされてしまっている可能性があります。

【保存時、同じ画像は保存しない】の機能を正しく働かせるには、カメラの時刻情報を正しく設定する必要があります。カメラの時計情報を正しく設定してください。

症状3 カメラから取り込んだファイルをパソコン上で削除してしまったので、同じファイルを再度カメラから取り込もうとしたが、取り込むことができなかった。こんなときには・・・

対処方法

RICOH Gate Laの【オプション設定】で、【保存時、同じ画像は保存しない】にチェックマークが付いていると、一度取り込んだファイルはパソコンに取り込まれません。RICOH Gate Laの【オプション設定】で【保存時、同じ画像は保存しない】のチェックマークを外してください。

症状4 ImageMixerで動画が再生できないときには・・・

対処方法1

Caplioレスキューを起動して、メッセージに従って操作してください。

対処方法2

DirectXがインストールされていない可能性が考えられます。(Windows 98/98SE/Me/2000の場合) Caplio Software CD-ROMからDirectXをインストールしてください。

症状5 カメラをWindowsXPにUSB接続した時にRICOH Gate Laを起動しないようにするには・・・

対処方法

カメラとパソコンをUSB接続し、Windowsタスクバーの【スタート】ボタンより【マイコンピュータ】を開きます。マイコンピュータの画面上のカメラのマークの上で右クリックし【プロパティ】をクリックして開きます。カメラのプロパティ画面を開き、【イベント】タブをクリックします。イベントページの【動作】の設定場所で【何もしない】または【実行するプログラムを選択する】をクリックし、【OK】をクリックしてください。【何もしない】を選択すると、カメラをパソコンに接続したときに、何も動作が起きません。【実行するプログラムを選択する】を選択すると、カメラをパソコンに接続したときに、画面が表示され、起動するプログラムを選択できます。

症状6 カメラからパソコンに画像を取り込んでいると【保存に失敗しました】と表示される ときには・・・

対処方法

カメラを再生モードにして、[表示できないファイルです] と画面に表示されるファイルがないか確認してください。表示できないファイルがあった場合は、すべてのファイルをパソコンにバックアップ後、SDメモリーカード、または、内蔵メモリーから削除してください。ファイルをバックアップするには、市販のカードリーダーで直接コピーするか、カメラのUSB接続設定を [マスタストレージ] にし、カメラの画像をすべてパソコンにコピーします。コピーしたらUSB接続設定を [オリジナル] に戻してください。

症状7 カメラをパソコン (Windows XP) に USB 接続したときに表示される【Device connected】画面に、RICOH Gate Laが表示されないときには・・・

対処方法

カメラを再生モードにして、[カードを初期化して下さい] というメッセージが表示されないか確認してください。

表示された場合は、SDメモリーカードに必要なファイルがないことを確認した後、カメラのセットアップメニューにある [初期化 [カード]] を使って (『使用説明書 (カメラ・導入編』参照)、SDメモリーカードを初期化してください。

症状8 カメラとパソコン (Windows XP) をUSBケーブルで接続するときに、Caplio Software CD-ROMが無く、新しいハードウェアのインストールができないときには・・・

対処方法

1. カメラをパソコンに接続する
[新しいハードウェアの検索ウィザード] 画面が表示されます。
2. [一覧または特定の場所からインストールする (詳細)] を選択する
3. [次へ] を選択する
4. [次の場所で最適のドライバを検索する] - [次の場所を含める] を選択し、[参照] ボタンを押す
5. Caplio Softwareをインストールした場所にある [WIA driver] フォルダ (基本はC:¥Program Files¥Caplio Software¥WIA driver) を選択し、[次へ] を選択する
6. [RICOH Gate La] を選択し、[この動作には常にこのプログラムを使う] にチェックを入れて、[OK] ボタンをクリックする